SONY

目次

やりたいことから探す

MENU/設定一覧から探す

索引

Cyber-shot

サイバーショット ハンドブック

DSC-T110/T110D

4-269-981-**01**(1)

JP

ハンドブックの便利な使いかた

右側にあるボタンをクリックすると、該当ページに移動します。
見たい機能を探したいときに便利です。

機能別に探せます

目的別に探せます

MENU/設定一覧から探せます

キーワードから探せます

本文中に記載されたページ数部分をクリックしても、各ページに移動します。

本文中のマーク/記載内容について

ハンドブックでは、操作の手順を→で表現しています。この順に従って、画面をタッチしてください。マークはお買い上げ時の状態のもので載せています。

お買い上げ時の設定は✓で表しています。

カメラを正しく動作させるための注意や制限事項を記載しています。

知っておくと便利な情報を記載しています。

操作前のご注意

表示言語について
本機では日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

本機で使用できるメモリーカード（別売）についてのご注意
本機で使用できるメモリーカードは、“メモリースティック PRO デュオ”、“メモリースティック PRO-HG デュオ”、“メモリースティック デュオ”、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードです。マルチメディアカードは使用できません。
本書では、“メモリースティック PRO デュオ”、“メモリースティック PRO-HG デュオ”、“メモリースティック デュオ”を「“メモリースティック デュオ”」、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードを「SDカード」と表現しています。
- 本機で動作確認されている“メモリースティック デュオ”は32GB、SDカードは64GBまでです。
- 動画撮影時は、以下のメモリーカードをおすすめします。
  - MEMORY STICK PRO Duo（Mark2）（“メモリースティック PRO デュオ”（Mark2））
  - MEMORY STICK PRO-HG Duo（“メモリースティック PRO-HG デュオ”）
  - SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード（Class 4以上）
- “メモリースティック デュオ”について詳しくは、153ページをご覧ください。

“メモリースティック デュオ”をスタンダードサイズの“メモリースティック”スロットで使用する場合
“メモリースティック デュオ” アダプター（別売）に入れると使用可能です。

“メモリースティック デュオ” アダプター

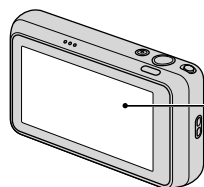
本機搭載の機能について
- 本書は TransferJet付きまたは無し機能について記載しています。
  TransferJet機能の確認については、お使いのカメラの本体底面に以下の記載がありますのでご確認ください。
  TransferJet付き：（TransferJet）

バッテリーについてのご注意
- 初めてお使いになるときは、バッテリー（付属）を必ず充電してください。
- バッテリーを使い切らない状態でも充電できます。また充電が完了しなくても途中まで充電した容量分はお使いいただけます。
- バッテリーを長持ちさせるために、長期間使用しない場合は、本機で使い切った後、バッテリーを取りはずして湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- バッテリーについて詳しくは、155ページをご覧ください。

カール ツァイスレンズ搭載
本機はカール ツァイスレンズを搭載し、シャープで、コントラストが良い画像を作り出すことを可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスの品質基準に基づき、カール ツァイスによって認定された品質保証システムにより生産されています。

次のページにつづく↓

液晶画面およびレンズについてのご注意

- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

黒、白、赤、青、緑の点

- 液晶画面に水滴などがついてぬれてしまった場合は、すぐに柔らかい布でふき取ってください。放置すると液晶画面の表面が変質したり劣化して故障の原因になります。
- 液晶画面やレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所で使うと、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 本機のレンズ部をぶつけたり、無理な力をかけないようご注意ください。

結露について

- 結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

本書中の画像について

画像の例として本書に記載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

製品登録について

製品登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-usbregi/

登録後は製品登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/contact/

製品登録の特典については下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-tokuten/

製品のご登録についてのお問い合わせ

My Sony Clubお客様窓口

フリーダイヤル…**0120-735-106**

携帯・PHS・一部のIP電話…**0466-31-5129**

受付時間： 月～金 9:00 ～ 18:00
土・日・祝日 9:00 ～ 17:00

製品登録およびそれに関する電話によるお問い合わせの対応は、国内のみです。

目次

ご使用の前に

撮る

見る

MENU（撮影）を使う

やりたいことから探す

MENU/設定一覧から探す

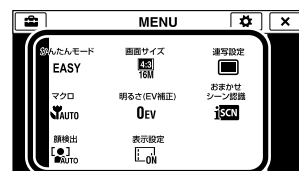
MENU一覧（撮影）

撮影中に見えている画面に対して使える機能を表示して、手軽に設定できます。

1 **レンズカバーを下げて、撮影モードにする**

2 **MENUをタッチしてメニュー画面を表示する**

MENUの下に表示されている4つのメニュー項目は、メニュー画面内には表示されません。

3 **メニュー項目 → 好みのモードの順にタッチする**

下の表では、○は設定変更可能、ーは設定変更不可能、SCN、[動画]の下のアイコンは、設定できるモードを表しています。撮影モードによっては、設定が固定または制限される場合があります。詳細は、各項目のページにてご確認ください。
「メニュー項目」の各項目をクリックすると、該当ページに移動します。

撮影モード / メニュー項目	i[カメラ]	[パノラマ]	[動画]	P	SCN	[水中]
かんたんモード	○	○	ー	○	○	ー
動画撮影シーン（DSC-T110のみ）	ー	ー	○	ー	ー	ー
スマイルシャッター	○	ー	ー	○	[アイコン] ISO [アイコン]	ー
フラッシュ	○	ー	ー	○	[アイコン]	ー
セルフタイマー	○	ー	○	○	○	ー
撮影方向	ー	○	ー	ー	ー	○
画像サイズ/パノラマ画像サイズ	○	○	○	○	○	○
連写設定	○	ー	ー	○	[アイコン]	ー
マクロ	○	ー	ー	○	[アイコン]	ー
明るさ（EV補正）	○	○	○	○	○	○
ISO	ー	ー	ー	○	[アイコン]	ー
色合い（ホワイトバランス）	ー	○	[動画]AUTO	○	ISO [アイコン]	ー
水中ホワイトバランス（DSC-T110のみ）	ー	ー	[アイコン]	ー	[アイコン]	○
フォーカス	ー	○	ー	○	ー	○
測光モード	ー	○	○	○	ー	○
おまかせシーン認識	○	ー	ー	ー	ー	ー

次のページにつづく↓

撮影モード / メニュー項目	iAuto	スイングパノラマ	動画	P	SCN	水中スイングパノラマ
美肌効果	–	–	–	–	(シーン3種)	–
顔検出	○	–	–	○	(シーン7種, ISO)	–
DRO	–	–	–	○	–	–
目つぶり軽減	–	–	–	–	(シーン2種)	–
表示設定	○	○	○	○	○	–
カメラ内ガイド	○	○	○	○	○	–

ご注意

- [水中スイングパノラマ]は[ハウジング]が[入]のときのみ表示されます（DSC-T110のみ）。
- 本機の画面には、それぞれのモードで設定できる項目のみが表示されます。
- MENUの下に表示されている4つのメニュー項目は、各モードによって表示される項目が異なります。
- シーンセレクションの (水中)はDSC-T110のみです。

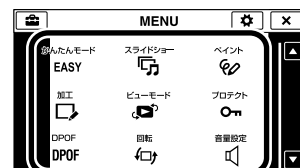
MENU一覧(再生)

再生中に見えている画面に対して使える機能を表示して、手軽に設定できます。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 MENUをタッチしてメニュー画面を表示する

MENUの下に表示されている4つのメニュー項目は、メニュー画面内には表示されません。

3 メニュー項目 → 好みのモードの順にタッチする

下の表では、○は設定変更可能、－は設定変更不可能を表しています。
「メニュー項目」の各項目をクリックすると、該当ページに移動します。

メニュー項目 ＼ ビューモード	メモリーカード			内蔵メモリー
	日付ビュー	フォルダビュー(静止画)	フォルダビュー(動画)	フォルダビュー
EASY(かんたんモード)	○	○	○	○
(カレンダー表示)	○	－	－	－
(一覧表示)	○	○	○	○
(スライドショー)	○	○	－	○
(削除)	○	○	○	○
(TransferJet送信)	○	○	－	－
(ペイント)	○	○	－	○
(加工)	○	○	－	○
(ビューモード)	○	○	○	－
(プロテクト)	○	○	○	○
DPOF	○	○	－	－
(回転)	○	○	－	○
(音量設定)	○	○	○	○
(表示設定)	○	○	○	○
(画像情報)	○	○	○	○
(一覧表示枚数)	○	○	○	○
(再生フォルダ選択)	－	○	○	－
カメラ内ガイド	○	○	○	○

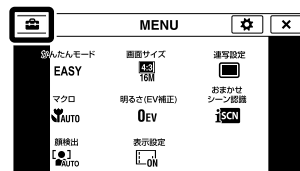
ご注意

- 本機の画面には、それぞれのモードで設定できる項目のみが表示されます。
- MENU の下に表示される4つのメニュー項目は、各モードによって表示される項目が異なります。

設定一覧

(設定)画面を表示して、本機の設定を変更できます。

1 MENU をタッチしてメニュー画面を表示する

2 (設定) → 希望のカテゴリー → 希望の項目 → 好みのモードの順にタッチする

下の表の「項目」をクリックすると、該当ページに移動します。

カテゴリー	項目
撮影設定	AF補助光
	グリッドライン
	表示画質モード
	デジタルズーム
	縦横判別
	シーン認識ガイド
	赤目軽減
	目つぶり通知
本体設定	操作音
	画面の明るさ
	言語設定*
	画面カラー
	デモモード
	設定リセット
	コンポーネント出力
	ビデオ信号出力
	ハウジング(DSC-T110のみ)
	USB接続
	LUN設定
	BGMダウンロード
	BGMデータ消去
	パワーセーブ
	TransferJet
	Eye-Fi**
	キャリブレーション
メモリーカードツール	フォーマット
	記録フォルダ作成
	記録フォルダ変更
	記録フォルダ削除
	コピー
	ファイル番号

次のページにつづく↓

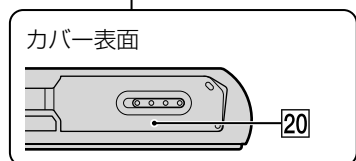
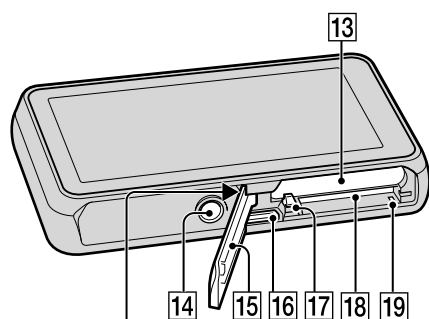
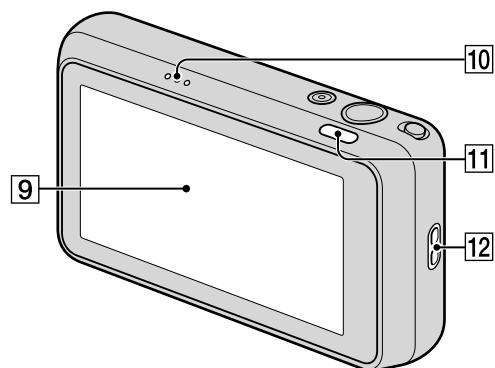
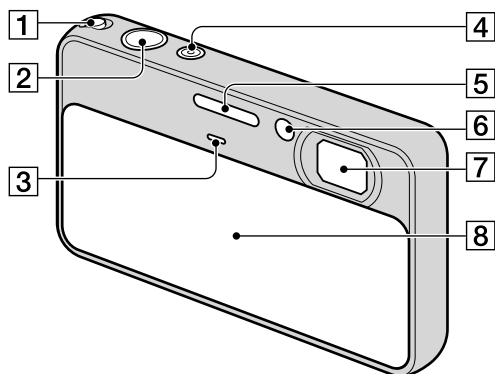
カテゴリー	項目
内蔵メモリーツール	フォーマット
	ファイル番号
時計設定	エリア設定
	日時設定

* 本機は日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

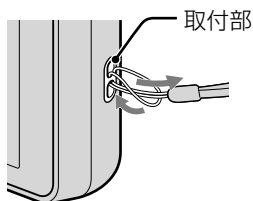
** 市販のEye-Fiカード挿入時のみ表示されます。

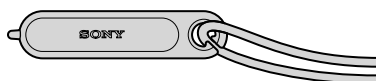
ご注意

- [撮影設定]は、撮影モードから設定に入ったときのみ表示されます。
- [メモリーカードツール]はメモリーカード挿入時のみ表示され、[内蔵メモリーツール]はメモリーカード非挿入時のみ表示されます。

各部の名前

1 ズーム(W/T)レバー（34、36）
2 シャッターボタン
3 マイク
4 ON/OFF（電源)ボタン/電源ランプ
5 フラッシュ
6 セルフタイマーランプ/スマイルシャッターランプ/AF補助光
7 レンズ
8 レンズカバー
9 液晶画面/タッチパネル
10 スピーカー
11 ▶(再生)ボタン(35)
12 リストストラップ取り付け部*
13 バッテリー挿入口
14 三脚用ネジ穴
15 バッテリー/メモリーカードカバー
16 マルチ端子(Type3a)
17 取りはずしつまみ
18 メモリーカード挿入口
19 アクセスランプ
20 (TransferJet™)マーク(81、115)

* リストストラップを使う

落下防止のため、ストラップを取り付け、手を通してご使用ください。

* ペイントペンを使う

タッチパネルを操作するときに使います。リストストラップに取り付けて使えます。ペイントペンを持って、本機を持ち運ばないでください。本機が落下するおそれがあります。

画面に表示されるアイコン一覧

画面には、カメラの状態を表すアイコンが出ます。撮影したモードによって、表示されるアイコンの位置が異なる場合があります。

静止画撮影時

1 2

DRO STD

iSCN

ON 102

C:32:00

96

4:3 16M

FULL

Hi

NR 125 F3.5 ISO400 +2.0EV

3 4

動画撮影時

1 2

102

C:32:00

100分

FULL

VGA

スタンバイ 0:12 +2.0EV

3 4

再生時

1 2

8/8

4:3 16M

FULL 102

DPOF

C:32:00

ISO400

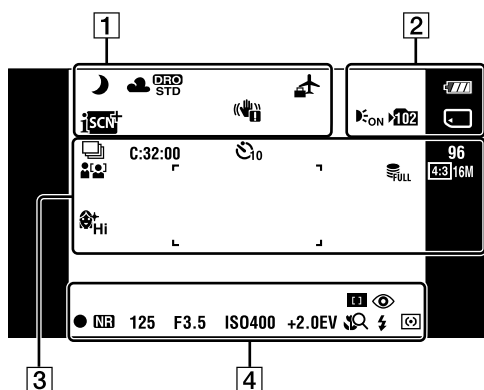
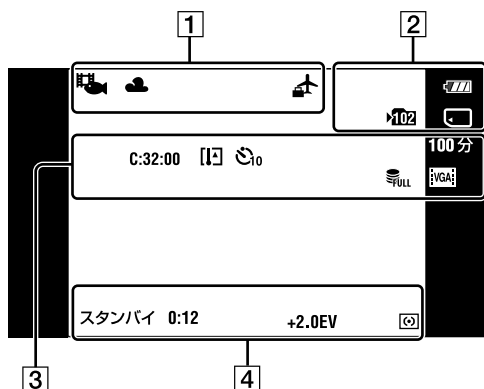
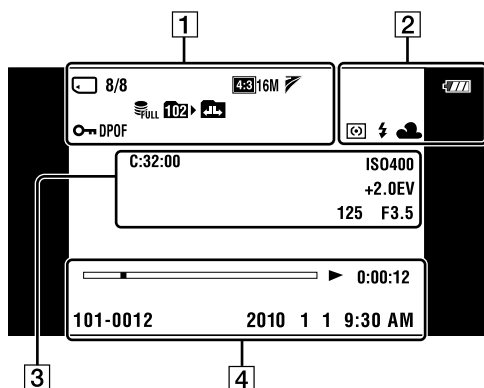
+2.0EV

125 F3.5

0:00:12

101-0012 2010 1 1 9:30 AM

3 4

1

表示	意味
	シーン認識マーク
WB 1 WB 2	色合い(ホワイトバランス) • WB WB 2(水中ホワイトバランス)はDSC-T110のみ表示されます。
DRO STD DRO Plus	DRO
	訪問先
iSCN	おまかせシーン認識
	手ブレ警告
	動画撮影シーン(DSC-T110のみ)
×2.0	再生ズーム
	記録/再生メディア (メモリーカード、内蔵メモリー)
OFF	Eye-Fi表示
8/8	画像番号/日付内・再生フォルダ内画像枚数
4:3 16M 4:3 10M 4:3 5M 4:3 VGA 16:9 12M 16:9 2M STD WIDE 720 FINE 720 STD VGA	画像サイズ/パノラマ画像サイズ
	TransferJet設定
FULL Error	管理ファイルフル/管理ファイルエラー警告
102	記録フォルダ
102	再生フォルダ
	フォルダ移動
	プロテクト
DPOF	プリント予約マーク
	目つぶり検出

次のページにつづく↓

2

表示	意味
	バッテリー残量
	バッテリー残量なし
ON	AF補助光
102	記録フォルダ
	記録/再生メディア（メモリーカード、内蔵メモリー）
OFF	Eye-Fi表示
W T ×1.3 S P	ズーム
	測光モード
	フラッシュ
AWB WB WB 1 2	色合い（ホワイトバランス） • WB 1 WB 2（水中ホワイトバランス）はDSC-T110のみ表示されます。

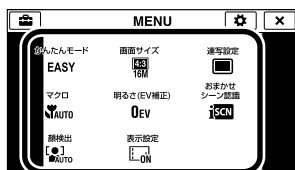
3

表示	意味
	連写設定
C:32:00	自己診断表示
	温度上昇警告
10 2	セルフタイマー
96	記録可能枚数
100分	記録可能時間
	顔検出
Hi Mid Lo	美肌効果
FULL Error	管理ファイルフル/管理ファイルエラー警告
4:3 16M 4:3 10M 4:3 5M 4:3 VGA 16:9 12M 16:9 2M STD WIDE 720 FINE 720 STD VGA	画像サイズ/パノラマ画像サイズ
	AF測距枠
+	スポット測光照準
ISO400	ISO感度
+2.0EV	明るさ（EV補正）
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値

4

表示	意味
	フォーカス
	赤目軽減
●	AE/AFロック
NR	NRスローシャッター
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値
ISO400	ISO感度
+2.0EV	明るさ（EV補正）
	拡大鏡モード
SL	フラッシュモード
	フラッシュ充電中
	測光モード
録画 スタンバイ	動画撮影/スタンバイ
0:12	記録時間（分：秒）
	再生
	再生バー
0:00:12	カウンター
101-0012	フォルダ-ファイル番号
2010 1 1 9:30 AM	画像の記録日時

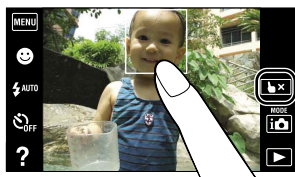
タッチパネルを使いこなす

本機は液晶画面に表示されるボタンをタッチしたり、画面をなぞることにより操作や設定をします。

ボタン	できること
▲/▼/◀/▶	隠れている項目を表示させて、設定したい項目を表示する。
✕	前の画面に戻る。
?	撮影メニュー、撮影モード、シーンセレクション表示時に設定値の機能説明をする。 ? → 説明を見たい項目の順にタッチする。

ご注意

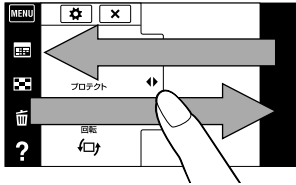
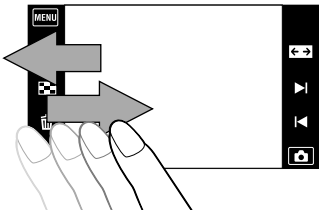
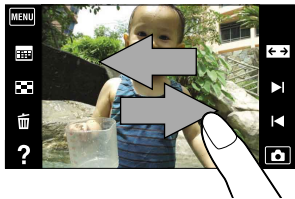
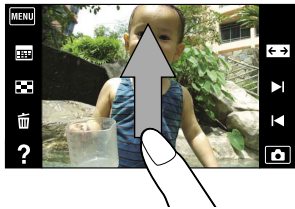
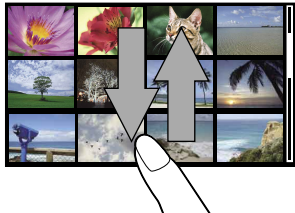
- タッチパネルを操作するときは、指または付属のペイントペンで軽く押してください。強く押したり、付属のペイントペン以外の先の尖ったもので押すと故障の原因になります。
- 撮影時、画面右上をタッチしていると、ボタンやアイコンが一時的に消えます。指が離れると再び表示されます。

画面をタッチしてピントを合わせる

タッチパネル上の被写体をタッチすると枠が表示され、シャッターを半押ししたときに枠内にピントが合います。枠内に顔がある場合は、ピント以外に明るさ、色合いも自動で最適化されます。

ボタン/操作方法	できること
被写体をタッチ	ピントをあわせる。
✕	ピント合わせを解除する。

ご注意

- デジタルズーム時、拡大鏡モード時、かんたんモード時はこの機能は使えません。
- シーンセレクションの (風景)、(夜景)、(打ち上げ花火)、(水中)(DSC-T110のみ)が選ばれているときは、この機能は使えません。

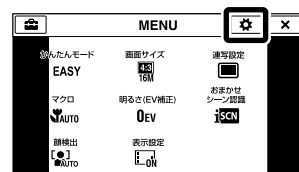
目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

画面をなぞって操作する

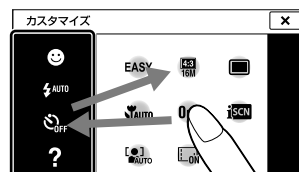
できること	操作方法
メニュー画面の表示 / 非表示	画面を左から右になぞると表示、右から左になぞると非表示。
操作ボタンの表示 / 非表示	画面の左側を左になぞると非表示、左側を右になぞると表示。
再生画像を送る / 戻す	再生時、画面を右/左になぞる。 連続で送る場合は右/左になぞり、画面をタッチし続ける。
一覧表示画面の表示	画面を上になぞる。
一覧表示画面のページを送る	画面を下/上になぞる。

メニュー項目をカスタマイズする

撮影/再生モード時、MENU の下に表示される4つのメニュー項目をお好みのボタンに変更(カスタマイズ)できます。よくご利用になるボタンを配置すると便利です。
撮影時は撮影モードごとに、再生時は内蔵メモリー、メモリーカードごとにカスタマイズでき、その設定が保存されます。

1 MENU をタッチしてメニュー画面を表示する

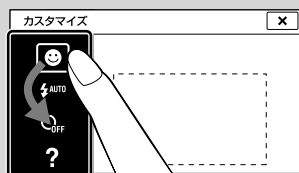
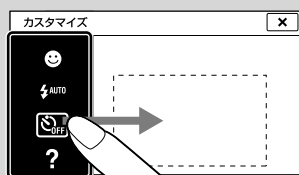
2 ✿(カスタマイズ) → [OK]

3 変更したいメニューボタンをタッチしたまま、希望の位置へ移動する
カスタマイズエリア内のメニューボタンと入れ替わる。

4 終了するには、✕ をタッチする

カスタマイズエリア

ご注意

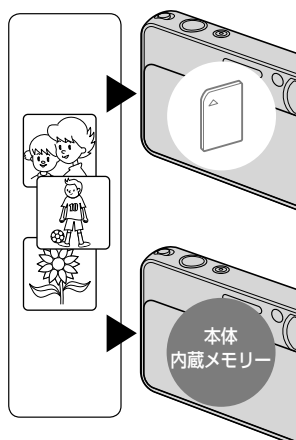
- かんたんモード中、この機能は使えません。

カスタマイズを使いこなす

メニューボタンを入れ換えるだけでなく、カスタマイズエリア内のメニュー項目を入れ換えたり、メニューボタンの数を減らすことができます。

カスタマイズエリア内のメニュー項目を入れ換える
カスタマイズエリア内のメニューボタンをタッチしたまま、変更したい位置へ移動する。

カスタマイズエリア内のボタンの数を減らす
カスタマイズエリア内のメニューボタンをタッチしたまま、右のエリアに移動する。

内蔵メモリーについて

本機には、取りはずすことのできない内蔵メモリー（約23 MB）が搭載されています。
本機にメモリーカードが入っていないときに、画像を内蔵メモリーに記録できます。

本体
内蔵メモリー

メモリーカードが挿入されているとき

[撮影画像]：メモリーカードに記録します。

[再生]：メモリーカード内の画像を再生します。

[メニュー /設定などの機能]：メモリーカード内のデータに対して行います。

メモリーカードが挿入されていないとき

[撮影画像]：内蔵メモリーに記録します。

- 動画の画像サイズが[1280×720（ファイン）]、[1280×720（スタンダード）]のときは、内蔵メモリーに記録できません。

[再生]：内蔵メモリーの画像を再生します。

[メニュー /設定などの機能]：内蔵メモリー内のデータに対して行います。

内蔵メモリーに記録した画像データについて

以下のいずれかの方法でバックアップを取ることをおすすめします。

パソコンのハードディスクにバックアップを取るには

本機にメモリーカードを入れない状態で、133ページの操作を行う。

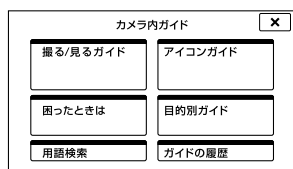
メモリーカードにバックアップを取るには

充分な空き容量のあるメモリーカードを準備して、[コピー]（123ページ）の操作を行う。

ご注意

- メモリーカードに記録された画像データは、内蔵メモリーに取り込めません。
- 本機とパソコンをUSB接続して、内蔵メモリーのデータをパソコンに取り込めますが、パソコン内のデータを内蔵メモリーに書き出せません。

カメラ内ガイドについて

本機はカメラ内に使いかたの情報を収録し、「知りたいこと」、「したいこと」をその場で探すことができます。
また、確認した後は、そのモードを実際に使ってみることもできます。

操作ガイドが表示されるので、画面の指示に従って操作する。

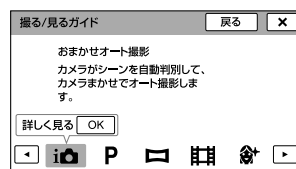
1 ?(カメラ内ガイド)をタッチする

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENU をタッチして表示する。

2 ガイドの検索方法を選ぶ

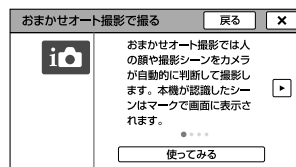
ここでは「撮る/見るガイド」で説明します。

3 希望のモードを選ぶ

そのモードでできる機能が表示される。

4 知りたいガイドを選ぶ

操作方法が表示される。

5 ◀/▶で概要、操作方法、詳細と画面が切り替わる

- 機能によっては、操作方法、詳細項目がないものがあります。
- [使ってみる]が表示されている場合、選ぶと実際にそのモードに切り替わります。

6 終了するときは、✕ をタッチする

ガイド項目	項目の説明
撮る/見るガイド	撮影モードごとに、操作可能な機能について調べる。
アイコンガイド	現在表示されているアイコンの機能、意味を調べる。
困ったときは	よくあるお問い合せとその対処方法を調べる。
目的別ガイド	「したいこと」から検索して、その機能を調べる。
用語検索	キーワードから検索して、その機能を調べる。

次のページにつづく↓

ガイド項目	項目の説明
ガイドの履歴	これまで見たガイド履歴を10件表示する。

ご注意

- 以下の場合は、?(カメラ内ガイド)は使えません。
  – かんたんモード中
  – [ハウジング]が[入]のとき(DSC-T110のみ)
- [使ってみる]が利用できない機能もあります。

撮影モード

状況や目的に合わせた撮影モードを選べます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 iO（撮影モード）→ 好みのモードの順にタッチする

iO（おまかせオート撮影）	自動設定で撮影できる。
（スイングパノラマ）	画像を合成してパノラマ画像を撮影できる。
（動画撮影）	動画を撮影できる。
P（プログラムオート撮影）	露出（シャッタースピードと絞り）は本機が自動設定する。メニューで多彩な機能を設定できる。
SCN（シーンセレクション）	撮影状況に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮影できる。
（水中スイングパノラマ）（DSC-T110のみ）	水中でパノラマ画像を撮影できる。ハウジングモードを[入]に設定した場合に表示される。

おまかせオート撮影

自動設定で撮影します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 iCamera（撮影モード）→ iCamera（おまかせオート撮影）
3 シャッターボタンを押して撮影する

MENU
AUTO
OFF
?
MODE

ご注意

• [フラッシュ]は[オート]または[発光禁止]になります。

おまかせシーン認識について

おまかせオート撮影では、おまかせシーン認識が働きます。これは本機が自動的に撮影状況を認識して、撮影する機能です。

風景

シーン認識マークとガイド

（夜景）、（夜景＆人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光＆人物）、（風景）、（マクロ）、（拡大鏡）、（人物）を認識し、認識した場合は画面に各マークとガイドが表示されます。
詳しくは64ページをご覧ください。

静止画のピントがうまく合わないときは

• ピントが合う最短距離は、レンズ先端からW側約8 cm（おまかせオート撮影時、かんたんモード中は約1 cm）、T側約50 cmです。それよりも近くで撮影するときは、拡大鏡撮影してください。
• 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ピピッ」と音がしません。構図を変えたり、フォーカス設定を変える（61ページ）などしてください。
• 以下のとき、ピントが合いにくい場合があります。
  – 被写体が遠くて暗い
  – 被写体と背景のコントラストが弱い
  – ガラス越しの被写体
  – 高速で移動する被写体
  – 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
  – 点滅する被写体
  – 逆光になっている被写体

スイングパノラマ

カメラを動かす間に複数の画像を撮影し、合成して1枚のパノラマ画像を作成します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 iカメラ（撮影モード）→ ▭（スイングパノラマ）

3 撮りたい被写体の端にカメラを合わせ、シャッターボタンを押す

撮影されない部分

4 液晶画面上の矢印方向に、カメラをガイドの終端まで動かす

ガイド

ご注意

- 一定時間内にパノラマ撮影画角に満たなかった場合、足りない部分はグレーで記録されます。この場合はカメラを速く動かすと最後まで記録されます。
- 複数の画像を合成するため、つなぎ目が滑らかに記録できない場合があります。
- 暗いシーンでは画像がブレたり、撮影ができない場合があります。
- 蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、合成された画像の明るさや色合いが一定ではなくなります。
- パノラマ撮影される画角全体と、AE/AFロックした時の画角とで、明るさや色合い、ピント位置などが極端に異なる場合、うまく撮影できない場合があります。このようなときは、AE/AFロックする場所を変えて撮影してください。
- 以下の場合、スイングパノラマ撮影に適していません。
  – 動いている被写体
  – 主要被写体とカメラの距離が近すぎる
  – 空、砂浜、芝生などの似たような模様が続く被写体
  – 波や滝など、常に模様が変化する被写体
- 以下の場合、スイングパノラマ撮影が中断されることがあります。
  – カメラを動かす速度が速すぎる、または遅すぎる場合
  – ブレ過ぎた場合

次のページにつづく↓

撮影方向、パノラマ画像サイズを変更する

撮影方向： (撮影方向) → [右]または[左]、[上]、[下]

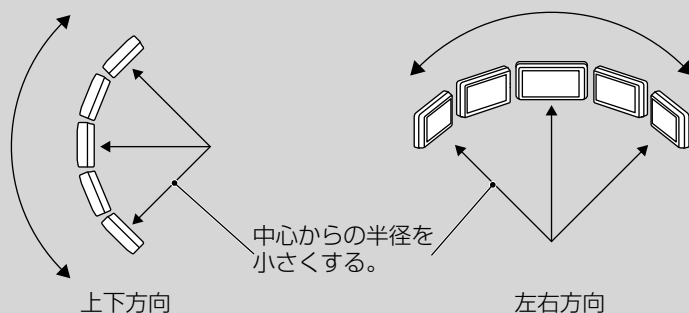
パノラマ画像サイズ： (画像サイズ) → [標準]または[ワイド]

スイングパノラマ撮影のポイント

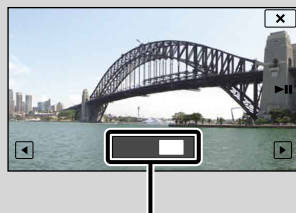
一定の速度で小さな円を描くように動かし、液晶画面の矢印方向と平行に動かしてください。動いている被写体よりも、止まっている被写体のほうがパノラマ撮影には適しています。

中心からの半径を小さくする。

上下方向

左右方向

- シャッターボタンを半押しして、ピントや露出、ホワイトバランスをロックしてからシャッターボタンを深押しし、カメラを動かしてください。
- 複雑な形状や景色が画面の端に偏っていると、合成がうまくいかないことがあります。その場合は、それらが画面の中央になるように構図を調整して撮影してください。

パノラマ画像をスクロール再生する

パノラマ画像表示中に▶をタッチすると、スクロール再生できます。
再生中、画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。

全体の中で現在表示されている部分

ボタン/操作方法	できること
▶II もしくは画面をタッチ	スクロール再生/一時停止
▲/▼/◀/▶ もしくは上下左右になぞる	スクロールの移動

- パノラマ画像は付属のソフトウェア「PMB」でも再生できます（131ページ）。
- 他機で記録されたパノラマ画像は、正しくスクロール再生されない場合があります。

動画撮影

動画を撮影できます。

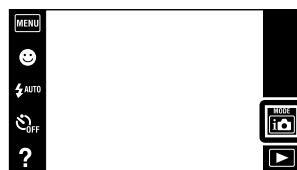
1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 （撮影モード）→ （動画撮影）
3 シャッターボタンを押す
4 終了するには、もう一度シャッターボタンを押す

プログラムオート撮影

露出（シャッタースピードと絞り）は本機が自動設定します。また、メニューで多彩な機能を設定できます。

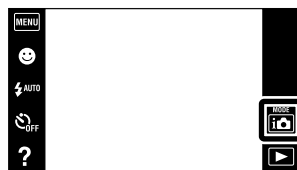
1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 iO（撮影モード）→P（プログラムオート撮影）

3 シャッターボタンを押す

シーンセレクション

あらかじめ、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影できます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 iO（撮影モード）→ SCN（シーンセレクション）→ 好みのモード

（美肌）	人物の肌をなめらかに補正して撮影する。
（ソフトスナップ）	人物や花などを、やさしい雰囲気で撮影する。
（風景）	遠景にピントを合わせ、青空や草木の色を鮮やかに撮影する。
（夜景＆人物）	夜景と手前の人物を同時に撮影するときに使う。夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際立たせた画像を撮影する。
（夜景）	暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影する。
ISO（高感度）	暗いところでも、フラッシュを使わずにブレを軽減しながら撮影する。
（料理）	マクロモードになり、料理を明るく美味しそうに撮影する。
（ペット）	ペットを最適な設定で撮影する。
（ビーチ）	海や湖畔などに適した設定で撮影する。

次のページにつづく↓

(スノー)	雪景色などの画面全体が白くなるような場所で撮影する場合、画面が沈みがちになるのを防ぎ、明るくなるようにする。
(打ち上げ花火)	打ち上げ花火をきれいに撮影する。
(水中) (DSC-T110のみ)	ハウジング(マリンパックなど)を装着したとき、水中をきれいに撮影する。
(高速シャッター)	屋外などの明るい場所で動きのある被写体を撮影する。 • シャッタースピードが速くなるので、暗い場所で撮影すると画像が暗くなります。

ご注意

- (夜景&人物)、(夜景)、(打ち上げ花火)のときは、シャッタースピードが遅くなり画像がブレやすくなるため、三脚のご使用をおすすめします。

シーンセレクションで使用できる機能

シーンセレクションでは、シーンに合わせて最適な撮影ができるよう、機能設定の組み合わせがあらかじめ決まっています。○は設定変更可能、－は設定変更不可能を表しています。

「フラッシュモード」、「セルフタイマー」の横のアイコンは、設定できるモードを表しています。モードによっては使えない機能があります。

						ISO						*5	
フラッシュモード	○	○		－	－	－					－		
セルフタイマー	○	○		○		○			○	○			○
スマイルシャッター	○	○	－	○	－	○	－	－	○	○	－	－	○
連写設定	○	○	○	－	－	－	－	－	○	○	－	○	○
拡大鏡モード	－	－	－	－	－	－	○	○	－	－	－	○	－
明るさ（EV補正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ISO	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－
色合い（ホワイトバランス）	－	－	－	－	－	○*1	○	○	－	－	－	○*2	－
フォーカス	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
測光モード	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
美肌効果	○*3	○	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－
顔検出	○*4	○*4	－	○	－	○	－	－	○	○	－	－	○
目つぶり軽減	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

*1 ［色合い（ホワイトバランス）］の［フラッシュ］は選べません。

*2 ［水中ホワイトバランス］になります。

*3 ［美肌効果］の［切］は選べません。

*4 ［顔検出］の［タッチ時］は選べません。

*5 （水中）はDSC-T110のみです。

水中スイングパノラマ(DSC-T110のみ)

ハウジング(マリンパックなど)を装着したとき、カメラを動かす間に複数の画像を撮影し、合成して1枚のパノラマ画像を作成します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 MENU → (設定) → (本体設定) → [ハウジング] → [入]
3 ハウジングを装着する
4 (撮影モード) → (水中スイングパノラマ)
5 撮りたい被写体の端にカメラを合わせ、シャッターボタンを押す

シャッターを押してカメラを矢印方向に動かしてください

撮影されない部分

6 液晶画面上の矢印方向に、カメラをガイドの終端まで動かす

撮影中

ガイド

矢印方向に動かしてください

ご注意

- 一定時間内にパノラマ撮影画角に満たなかった場合、足りない部分はグレーで記録されます。この場合はカメラを速く動かすと最後まで記録されます。
- 複数の画像を合成するため、つなぎ目が滑らかに記録できない場合があります。
- 暗いシーンでは画像がブレたり、撮影ができない場合があります。
- ちらつきのある光源がある場合、合成された画像の明るさや色合いが一定ではなくなります。
- パノラマ撮影される画角全体と、AE/AFロックした時の画角とで、明るさや色合い、ピント位置などが極端に異なる場合、うまく撮影できない場合があります。このようなときは、AE/AFロックする場所を変えて撮影してください。
- 以下の場合、スイングパノラマ撮影に適していません。
  – 主要被写体とカメラの距離が近すぎる
  – 似たような模様が続く被写体
  – 常に模様が変化する被写体
- 以下の場合、スイングパノラマ撮影が中断されることがあります。
  – カメラを動かす速度が速すぎる、または遅すぎる場合
  – ブレ過ぎた場合

ズーム

画像を拡大して撮影します。光学4倍までズームします。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 ズーム（W/T）レバーを動かす

ズーム（W/T）レバーをT側に動かすとズームし、W側に動かすと戻る。

- 4倍以上のズームを行う場合は、97ページをご覧ください。

T側

W側

ご注意

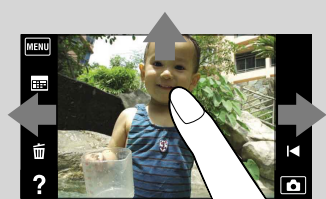
- 動画撮影中はズーム速度が遅くなります。
- スイングパノラマ撮影、水中スイングパノラマ撮影（DSC-T110のみ）のときは、ズームはW側に固定されます。

静止画再生

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 ▶I/I◀で画像を選ぶ

なぞり操作を使いこなす

再生時、画面をなぞって以下の操作ができます。

できること	操作方法
再生画像を送る/戻す	右/左になぞる
再生画像を連続で送る/戻す	右/左になぞり、画面をタッチし続ける
再生時、一覧表示画面を表示	上になぞる

他機で撮影した画像を見るときは

本機はメモリーカードに管理ファイルを作成して画像を記録し再生します。本機がメモリーカードの管理ファイルに未登録の画像を認識した場合、「本機で管理されていない画像が見つかりました 登録します」という登録画面が表示されます。
管理されていない画像を見るときは、[OK]を選んで画像を登録してください。

- 画像を登録するときは充分に充電したバッテリーをご使用ください。残量の少ないバッテリーを使用して未登録の画像を登録すると、バッテリー切れのためデータを登録できなかったり、データを破損するおそれがあります。

再生ズーム

再生した画像を拡大します。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 拡大したい部分をタッチする

タッチした部分を中心に、2倍に拡大される。ズーム(W/T)レバーをT側に動かしても、拡大される。

3 倍率や拡大位置を調整する

画面をタッチするたびに、さらに拡大表示される。

全体の中で現在表示されている部分

ボタン/操作方法	できること
上下左右になぞる	ズーム位置変更
⊕/⊖	倍率変更
✕	ズーム中止

画像を拡大し保存するには

MENU → [加工] → [トリミング(リサイズ)]で、拡大した画像を保存できます。

ワイドズーム

1枚再生時、4:3の画角の静止画を画面いっぱいに再生します。上下部分を少し切って表示します。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

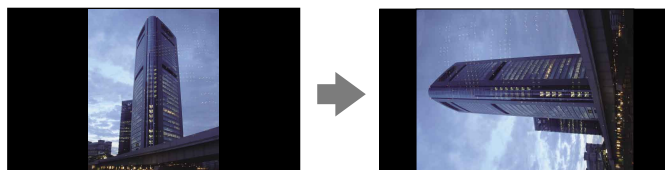
2 ←→ (ワイドズーム)をタッチする

3 終了するには、再び ←→ (ワイドズーム)をタッチする

ご注意

- 以下の場合は、ワイドズームできません。
  – 動画
  – パノラマ画像
  – 16:9の画像

一時回転表示

1枚再生時、縦に表示された画像を一時的に横に回転して大きく表示します。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 縦に表示された画像を選ぶ → (一時回転表示)をタッチする

3 終了するには、再び (一時回転表示)をタッチする

ご注意

- 以下の場合は、一時回転表示できません。
  – 動画
  – パノラマ画像
  – 横に表示された画像
- ▶I/I◀をタッチすると一時回転表示は解除されます。

動画再生

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 ▶/◀で動画を選ぶ

3 液晶画面の▶をタッチする

再生中、画面をタッチすると、操作ボタンが表示される。

ボタン/操作方法	できること
⏮	頭出し
◀◀	早戻し
▶II もしくは画面をタッチ	再生/一時停止
▶▶	早送り
🔈	音量調整 🔈+/🔈-で調整する

ご注意

- 他機で撮影した画像は再生できない場合があります。

一覧表示画面で動画のみ表示する

MENU → （ビューモード） → （フォルダビュー（動画））で、動画だけの一覧表示画面を表示することができます。

- 再生した動画が終わると自動的に次の動画が始まります。

目次

やりたいことから探す

MENU/設定一覧から探す

索引

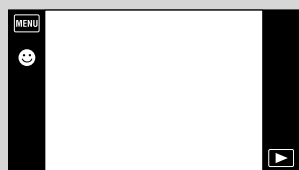
かんたんモード

必要最低限の機能を使って静止画を撮影します。
文字が大きくなり、表示が見やすくなります。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 MENU → EASY（かんたんモード） → [OK]

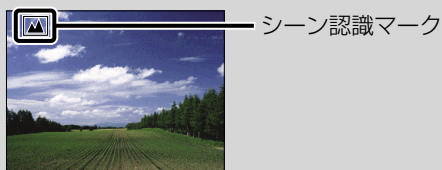
ご注意

- 液晶画面の明るさが自動的に明るくなるため、バッテリーの消費が速くなります。
- 再生モードも[かんたんモード]になります。

かんたんモード（撮影）時に使用できる機能

スマイルシャッター： ☻（スマイル）をタッチ
画像サイズ： MENU → [画像サイズ] → [大]または[小]を選ぶ
フラッシュ： MENU → [フラッシュ] → [オート]または[切]を選ぶ
セルフタイマー： MENU → [セルフタイマー] → [切]または[入]を選ぶ
かんたんモード終了： MENU → [かんたんモード終了] → [OK]をタッチ

おまかせシーン認識について

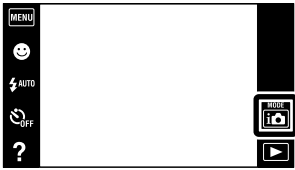
かんたんモードでは、おまかせシーン認識が働きます。これは本機が自動的に撮影状況を認識して、撮影する機能です。

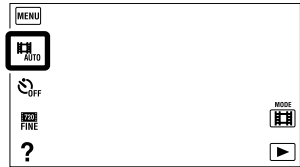
シーン認識マーク

- （夜景）、（夜景＆人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光＆人物）、（風景）、（マクロ）、（拡大鏡）、（人物）を認識し、認識した場合は画面に各マークが表示されます。
詳しくは64ページをご覧ください。

動画撮影シーン（DSC-T110のみ）

動画撮影時、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影できます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 iO（撮影モード）→ 動画（動画撮影）

3 AUTO（動画撮影シーン）→ 好みのモード

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENU をタッチして設定する。

✓	AUTO（オート）	カメラが自動調整する。
	（水中）	ハウジング（マリンパックなど）を装着したとき、水中をきれいに撮影できる。

スマイルシャッター

笑顔を検出すると自動で撮影します。

1 **レンズカバーを下げて、撮影モードにする**

2 **☻(スマイルシャッター)をタッチする**

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定する。

3 **笑顔を待つ**

スマイルレベルがインジケーターの▼を超えると、自動で撮影される。

スマイルシャッター中に、シャッターボタンを押しても撮影できる。撮影後はスマイルシャッターに戻る。

4 **終了するにはもう一度 ☻(スマイルシャッター)をタッチする**

スマイル検出感度インジケーター

顔検出枠

ご注意

- メモリーカード/内蔵メモリーがいっぱいになると自動的に終了します。
- 状況によっては笑顔が正しく検出できない場合があります。
- デジタルズームは使えません。
- 以下の場合は、[スマイルシャッター]は使えません。
  – スイングパノラマ撮影時
  – 水中スイングパノラマ撮影時(DSC-T110のみ)
  – 動画撮影時

スマイル検出感度を設定する

スマイルシャッター中、笑顔を検出する感度を設定するボタンが表示されます。

☻:大笑いで検出する

☻:普通の笑顔で検出する

☻:ほほ笑み程度でも検出する

- かんたんモード中、スマイル検出感度は[普通の笑顔]に固定されます。
- [表示設定]が[切]の場合、スマイル検出感度は表示されません。

次のページにつづく↓

検出されやすい笑顔のポイント

① 前髪が目にかからないようにする。
帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れないようにする。

② カメラに対して正面を向き、なるべく水平になるようにする。
目は細めにする。

③ 口を開けてしっかり笑う。歯が見えているほうが笑顔を検出しやすくなる。

- 顔検出されているうちの1人が笑えばシャッターが切れます。
- [顔検出]で優先的に笑顔を検出する被写体を選択できます。優先する顔を選択している場合は、その顔でのみ笑顔を検出します。別の顔を検出したいときは、その顔をタッチします(67ページ)。
- 笑顔が検出されない場合はスマイル検出感度を[ほほ笑み]に設定してください。

フラッシュ

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 ⚡AUTO（フラッシュ）→ 好みのモード

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENU をタッチして設定する。

✓	⚡AUTO（オート）	暗い場所または逆光のとき、自動で発光する。
	⚡（強制発光）	フラッシュを必ず発光する。
	⚡SL（スローシンクロ）	フラッシュを必ず発光する。 暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影する。
	⊛（発光禁止）	フラッシュを発光しない。

ご注意

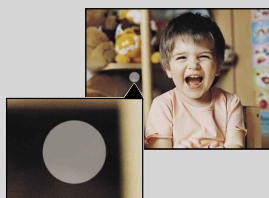
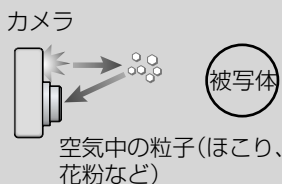
- フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。
- フラッシュを充電している間、⚡● が表示されます。
- 連写時はフラッシュ撮影できません。
- おまかせオート撮影の時は、[強制発光]、[スローシンクロ]は選べません。
- スイングパノラマ撮影、水中スイングパノラマ撮影（DSC-T110のみ）のときは、[フラッシュ]は[発光禁止]になります。

フラッシュ撮影で白く丸い点が写るときは

カメラの近くに浮かんでいるほこりや花粉などがフラッシュに反射して、白く丸い点のように撮影されてしまうことがあります。

カメラ

被写体

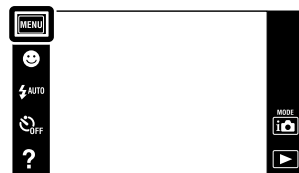
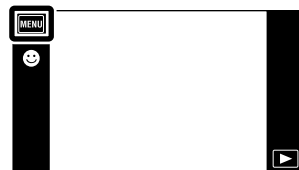
空気中の粒子（ほこり、花粉など）

軽減するには：

- 撮影環境を明るくし、フラッシュなしで撮影する。
- シーンセレクションで ISO（高感度）に設定して撮影する。（[フラッシュ]は[発光禁止]になります）

フラッシュ

かんたん撮影モードのときは、MENUからフラッシュの設定を選びます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → EASY（かんたんモード） → [OK]

3 MENU → [フラッシュ] → 好みのモード

✓	オート	暗い場所または逆光のとき、自動で発光する。
	切	フラッシュを発光しない。

セルフタイマー

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 (セルフタイマー) → 好みのモード

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENU をタッチして設定する。

✓	(切)	セルフタイマーを使わない。
	(10秒)	セルフタイマーを10秒後に設定する。 シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始される。 解除するには、×をタッチする。
	(2秒)	セルフタイマーを2秒後に設定する。
	(自分撮り1人)	セルフタイマーを[自分撮り]に設定する。 設定した人数の顔を検出すると「ピピッ」と音が鳴り、2秒後に撮影が開始される。
	(自分撮り2人)	

ご注意

- 動画撮影時は、[自分撮り1人]または[自分撮り2人]は選べません。
- スイングパノラマ撮影、水中スイングパノラマ撮影（DSC-T110のみ）のときは、セルフタイマーは無効です。

「自分撮り」で自動撮影

液晶画面に顔が映るようにレンズを自分に向けてください。カメラが設定した人数の被写体の顔を検出すると撮影が開始されます。カメラが最適な構図を判断して撮影するため、液晶画面から顔が外れるのを防ぐことができます。ピピッと音が鳴ったらカメラを動かさないでください。

- 待機中にシャッターボタンを押すと、通常撮影もできます。

次のページにつづく↓

ブレを起こさないためには

シャッターボタンを押したときに、カメラを持つ手や体が揺れると「手ブレ」が起こります。

（夜景＆人物）や（夜景）など、暗い場所やシャッタースピードが遅くなるような状況では、手ブレが起こりやすくなります。

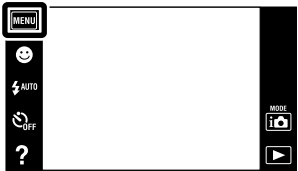
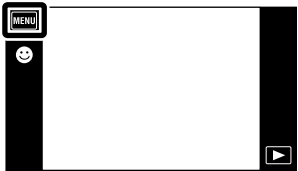
下記の軽減方法を参考にしてください。

- セルフタイマーを2秒に設定して、シャッターを押したあとにしっかりと構え直す。
- 三脚を使用したり、カメラを平らな場所に置き、固定する。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

セルフタイマー

かんたん撮影モードのときは、MENU からセルフタイマーの設定を選びます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 MENU → EASY（かんたんモード）→ [OK]

3 MENU → [セルフタイマー] → 好みのモード

✓	切	セルフタイマーを使わない。
	入	セルフタイマーを10秒後に設定する。 シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始される。 解除するには、⏲×をタッチする。

撮影方向

スイングパノラマ撮影時、または水中スイングパノラマ撮影（DSC-T110のみ）時、カメラを動かす方向を設定します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

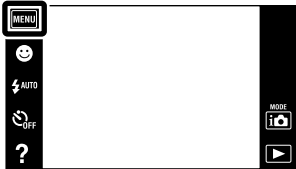
2 （撮影方向） → 好みのモード

✓	（右）	左から右に向かって撮影する。
	（左）	右から左に向かって撮影する。
	（上）	下から上に向かって撮影する。
	（下）	上から下に向かって撮影する。

画像サイズ/パノラマ画像サイズ

画像サイズは画像を記録するときの大きさのことです。
画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできます。小さくすると、たくさん撮影できます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → 4:3 16M（画像サイズ）→ 好みのサイズ

静止画撮影

	静止画画像サイズ	用途例	本機の液晶表示
✓	4:3 16M (4608×3456)	A3ノビサイズまでの印刷	縦横比4:3で表示
	4:3 10M (3648×2736)		
	4:3 5M (2592×1944)	L/2L/A4サイズまでの印刷	
	4:3 VGA (640×480)	Eメールに添付	
	16:9 12M (4608×2592)	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞やA3サイズまでの印刷	画面いっぱいに表示
	16:9 2M (1920×1080)	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞	

ご注意

• 16:9やパノラマで撮影した静止画は、プリント時に両端が切れることがあります。

かんたんモード

✓	大	[16M]で撮影
	小	[5M]で撮影

スイングパノラマ/水中スイングパノラマ（DSC-T110のみ）

✓	標準	左右：4912×1080で撮影 上下：3424×1920で撮影
	ワイド	左右：7152×1080で撮影 上下：4912×1920で撮影

動画撮影

画像サイズは大きいほど高精細になります。1秒間に使用されるデータ量（平均ビットレート）は、多いほどなめらかな動きになります。
本機の動画はMPEG-4、約30フレーム/秒、プログレッシブ、AAC音声、mp4形式で記録されます。

1 （画像サイズ）→ 好みのモード

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして設定する。

	動画画像サイズ	平均ビットレート	用途例
✓	1280×720（ファイン）	9Mbps	ハイビジョンテレビ用に高画質で撮影
	1280×720（スタンダード）	6Mbps	ハイビジョンテレビ用に標準画質で撮影
	VGA	3Mbps	WEBアップロードに適したサイズで撮影

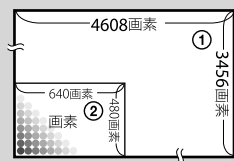
ご注意

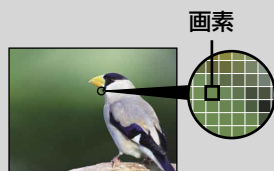
- [VGA]を選択した場合は、望遠よりの画像になります。

次のページにつづく↓

「画素」と「画像サイズ」について

デジタル写真は「画素(ピクセル)」という小さな点が集まって作られています。「画素」を多く使うと、写真は大きく、データ量は多く、画面は精細になります。「画像サイズ」とはこの画素数を指します。本機の画面では違いはわかりませんが、プリントしたりパソコンの画面で見たときに、写真の精細さやデータ処理時間に影響します。

画素と画像サイズのイメージ

① 画像サイズ:16M
4608画素×3456画素=15925248画素

② 画像サイズ:VGA
640画素×480画素=307200画素

画素数が多い
(細密で、データ量が多い)

画素数が少ない
(粗いが、データ量が少ない)

連写設定

1枚撮影、連写から撮影モードを選べます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 MENU → (連写設定) → 好みのモード

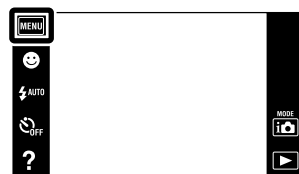
✓	**(1枚撮影)**	1枚撮影する。
	(連写)	シャッターボタンを押し続けている間、最大100枚連写する。 **ご注意** • かんたん撮影、スイングパノラマ撮影、動画撮影時、スマイルシャッター中は連写できません。 • フラッシュは[発光禁止]になります。 • セルフタイマー時は、1枚しか撮影できません。 • 画像サイズによって撮影の間隔が長くなることがあります。 • バッテリーの残量が少ない、または内蔵メモリー/メモリーカードの容量がいっぱいになると、連写は停止します。 • [フォーカス]、[色合い(ホワイトバランス)]、[明るさ(EV補正)]は最初の1枚に設定された値に固定されます。

マクロ

虫や花など、小さいものを近くできれいに撮影したいときに使います。

1 **レンズカバーを下げて、撮影モードにする**

2 **MENU → AUTO（マクロ）→ 好みのモード**

撮影モードによっては、画面左側に表示されるボタンから設定する。

✓	AUTO（オート）	遠景から近接まで自動でピントを合わせる。
	（拡大鏡）	近距離で撮影したい場合に使用する。W側固定で約1 cm ～ 20 cmの間でピントを合わせる。

ご注意

- 以下の場合は、[マクロ]は[オート]に固定されます。
  - スイングパノラマ撮影時
  - 水中スイングパノラマ撮影時（DSC-T110のみ）
  - 動画撮影時
  - スマイルシャッター中
  - かんたんモード中
  - [セルフタイマー]が[自分撮り1人]または[自分撮り2人]のとき
- 拡大鏡撮影時は以下の点にご注意ください。
  - おまかせシーン認識、顔検出機能は使えません。
  - 拡大鏡モードは、電源を切ったり撮影モードを切り換えたりすると解除されます。
  - [フラッシュ]は[強制発光]、または[発光禁止]のみになります。
  - 通常よりもピント合わせが遅くなります。

明るさ(EV補正)

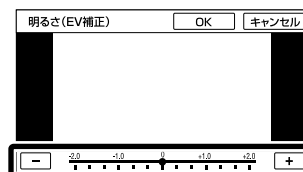
－2.0EVから＋2.0EVの範囲で、1/3EV単位で露出を手動調節できます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → 0EV(明るさ(EV補正))

撮影モードによっては、画面左側に表示されるボタンから設定する。

3 ＋/－をタッチして調節 → [OK]

調節バーの●をタッチしたまま、左右になぞることでも調節できる。

ご注意

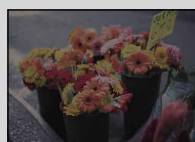
- 被写体が極端に明るいときや暗いとき、またはフラッシュ撮影時は、補正が効かないことがあります。

光の量を調整して好みの画像を撮る

露出オーバー＝光が多すぎる
画面が白くなる

[明るさ(EV補正)]を－側にする

露出が適正

[明るさ(EV補正)]を＋側にする

露出アンダー＝光が少なすぎる
画面が暗くなる

ISO

プログラムオート撮影、または、シーンセレクションで（水中）（DSC-T110のみ）を選んでいるとき、明るさの感度を設定します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → ISO AUTO（ISO）→ 好みの数値

✓	ISO AUTO（オート）	カメラが自動で設定する。
	ISO 80/ISO 100/ISO 200/ISO 400/ISO 800/ISO 1600/ISO 3200	暗い場所や動いている被写体を撮影する場合、ISO感度を上げる（数値を大きくする）と、ブレを軽減できる。

ご注意

- 連写またはDROが[プラス]のときは[ISO AUTO]、[ISO 80] ～ [ISO 800]までしか選べません。

ISO感度（推奨露光指数）の調整

ISO感度とは、光を受け取る撮像素子を含めた記録側の感度値です。同じ露出で撮影しても、設定によって仕上がる画像が変わります。

ISO感度が高い

シャッタースピードを速くしてブレを軽減し、露出が足りない場所でも、明るめに記録できます。

ただし、画像にノイズが増えます。

ISO感度が低い

ノイズの少ない画像を撮影することができます。

ただし露出が足りない場合は、画像は暗めに記録されることがあります。

次のページにつづく↓

ブレを起こさないためには

カメラを固定していても、シャッターボタンを押したときに被写体が動いてしまい、ブレが起こります。本機では、自動的に手ブレは軽減できますが、被写体ブレには効果はありません。暗い場所やシャッタースピードが遅くなるような状況では、被写体ブレが起こりやすくなります。
下記の軽減方法を参考にしてください。

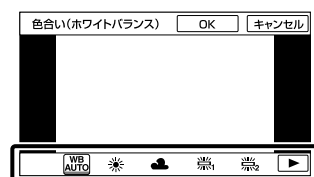
- ISO感度の設定を上げてシャッタースピードを速くする。
- ISO（高感度）に設定して撮影する。

色合い(ホワイトバランス)

画像の色がおかしいと感じたときなどに、撮影場所の光の状況に合わせて調整します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → WB AUTO(色合い(ホワイトバランス))
撮影モードによっては、画面左側に表示されるボタンから設定する。

3 好みのモード → [OK]

✓	WB AUTO(オート)	自然な色合いになるよう、ホワイトバランスを自動調節する。
	(太陽光)	晴天の屋外や、夕景、夜景、ネオン、花火などに合わせる。
	(曇天)	曇り空や日陰に合わせる。
	(蛍光灯1) (蛍光灯2) (蛍光灯3)	[蛍光灯1]:白色蛍光灯の光に合わせる。 [蛍光灯2]:昼白色蛍光灯の光に合わせる。 [蛍光灯3]:昼光色蛍光灯の光に合わせる。
	(電球)	白熱球や、スタジオなどのビデオライトに合わせる。
	WB(フラッシュ)	フラッシュ光に合わせる。
	(ワンプッシュ)	光源に合わせてホワイトバランスを一定の設定にする。 [ワンプッシュ取込]で取り込んだ「白」が基準になる。 [オート]や他の設定で実際の色がうまく表現できないときなどに使用する。
	SET(ワンプッシュ取込)	[ワンプッシュ]で、基準になる「白」を取り込む。

ご注意

- 以下の場合は、[色合い(ホワイトバランス)]は選べません。
  – おまかせオート撮影時
  – 水中スイングパノラマ撮影時(DSC-T110のみ)
  – かんたんモード時
- 以下の場合は、[色合い(ホワイトバランス)]の[フラッシュ]は選べません。
  – スイングパノラマ撮影時
  – 動画撮影時
  – シーンセレクションが ISO(高感度)のとき
- ちらつきのある蛍光灯下では、[蛍光灯1]、[蛍光灯2]、[蛍光灯3]を選んでもうまく合わないことがあります。
- [フラッシュ]以外のときフラッシュ発光して撮影すると、[色合い(ホワイトバランス)]は[オート]になります。

次のページにつづく↓

- [フラッシュ]が[強制発光]または[スローシンクロ]の場合、ホワイトバランスは[オート]、[フラッシュ]、[ワンプッシュ]、[ワンプッシュ取込]のみ選べます。
- フラッシュ充電中は[ワンプッシュ取込]を選択できません。

ワンプッシュ取込で基準の「白」を取り込む

1 被写体を照らす照明条件と同じ所に白い紙などを置き、レンズを向け、液晶画面いっぱいに表示する

2 MENU → AWB(色合い(ホワイトバランス)) → [ワンプッシュ取込] → [取込]

画面が一瞬暗くなり、ホワイトバランスが調整されてカメラに記憶されると、撮影画面に戻る。

ご注意

- 撮影時、表示が点滅をしているときは、ホワイトバランスが未設定または設定できなかった場合を表しています。設定できなかった場合は[オート]で撮影してください。
- ワンプッシュ取込中は、本機を動かさないでください。
- [フラッシュ]が[強制発光]または[スローシンクロ]の場合、フラッシュが発光した状態でホワイトバランスが調節されます。
- [色合い(ホワイトバランス)]、[水中ホワイトバランス](DSC-T110のみ)で取り込んだ白の基準は、別々に記憶されます。

光の影響について

被写体の見た目の色は、その場の光の影響を受けます。
本機はこの変化を適正にするように自動調整しますが、ホワイトバランスを使うと、よりお好みの色合いに調整できます。

天候や照明	晴れ	曇り	蛍光灯	電球
光の特性	基準となる白	青みがかる	緑がかる	赤みがかる

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

水中ホワイトバランス(DSC-T110のみ)

シーンセレクションで(水中)、動画撮影シーンで(水中)、または(水中スイングパノラマ)を選んでいるときの色合いを調整します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → (水中ホワイトバランス)

3 好みのモード → [OK]

✓	(オート)	水中で自然な色合いになるように自動調整する。
	(水中1)	青色の強い水中に合わせる。
	(水中2)	緑色の強い水中に合わせる。
	(ワンプッシュ)	光源に合わせてホワイトバランスを一定の設定にする。[ワンプッシュ取込]で取り込んだ「白」が基準になる。[オート]や他の設定で実際の色がうまく表現できないときなどに使用する。
	(ワンプッシュ取込)	[ワンプッシュ]での基準になる「白」を取り込む(59ページ)。

ご注意

- 海の色によっては、[水中1]、[水中2]を選んでもうまく合わないことがあります。
- [フラッシュ]が[強制発光]の場合、[水中ホワイトバランス]は[オート]、[ワンプッシュ]、[ワンプッシュ取込]のみ選べます。
- フラッシュ充電中は[ワンプッシュ取込]を選択できません。
- [色合い(ホワイトバランス)]、[水中ホワイトバランス]で取り込んだ白の基準は、別々に記憶されます。

フォーカス

ピント合わせの方法を変更します。ピントが合いにくいときなどに使います。
AFとは「Auto Focus」の略で、自動ピント合わせ機能のことです。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → (フォーカス) → 好みのモード

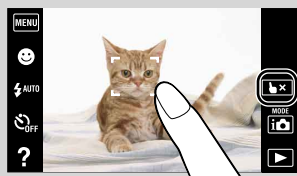
撮影モードによっては、画面左側に表示されるボタンから設定する。

✓	(マルチAF)	画面全体を基準に、自動ピント合わせをする。静止画撮影で半押しした時には、ピントが合ったエリアに緑色の枠が表示される。 • 顔検出が働いている場合には、顔を優先したAFになります。 • シーンセレクションが(水中)(DSC-T110のみ)のときは、水中撮影に適したAFになります。半押ししてピントが合うと、大きな枠が緑色で表示されます。	AF測距枠
	(中央重点AF)	画面中央付近の被写体に自動ピント合わせする。AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能。	AF測距枠
	(スポットAF)	非常に小さな被写体に自動ピント合わせする。AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能。測距枠からはずれないように手ブレにご注意ください。	AF測距枠

ご注意

- デジタルズーム時や、[AF補助光]を使用するときは、AF測距枠設定が無効になり、AF測距枠が点線で表示されます。この場合、中央付近の被写体を優先したAF動作になります。
- [マルチAF]以外に設定しているとき、[顔検出]は[タッチ時]に固定されます。
- 以下の場合は、[マルチAF]で固定されます。
  – おまかせオート撮影時
  – 動画撮影時
  – スマイルシャッター中
  – かんたんモード中
  – [セルフタイマー]が[自分撮り1人]または[自分撮り2人]のとき
  – 画像をタッチしてピント合わせをしたとき

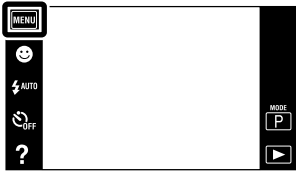
次のページにつづく↓

素早くピントを合わせるには

画面をタッチすると枠が表示され、シャッターを半押ししたときに枠内にピントが合います。
ピント合わせを解除するには×をタッチする。

測光モード

本機が自動で露出を決めるとき、画面のどの部分で光を測るか(測光)を設定します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → (測光モード) → 好みのモード

✓	(マルチ)	画面を多分割して測光し、全体のバランスをとって自動調節する(マルチパターン測光)。
	(中央重点)	画面の中央部に重点をおいて測光し、中央部付近の明るさを基準に露出を決める(中央重点測光)。
	(スポット)	被写体の一部分だけで測光する(スポット測光)。逆光にある被写体や、背景と被写体のコントラストが強いときに便利。 スポット測光照準 被写体をここに合わせる

ご注意

- 動画撮影時は[スポット]は選べません。
- [マルチ]以外に設定しているとき、[顔検出]は[タッチ時]に固定されます。
- 以下の場合は、[マルチ]で固定されます。
  – おまかせオート撮影時
  – スマイルシャッター中
  – かんたんモード中
  – [セルフタイマー]が[自分撮り1人]または[自分撮り2人]のとき

おまかせシーン認識

本機が自動的に撮影状況を認識して撮影します。
動きを検出すると、動きに応じてISO感度が上がり被写体ブレを軽減します（動き検出）。

逆光が働いた写真例

シーン認識マークとガイド
以下のシーンを認識します。本機が最適なシーンを判別すると、各マークとガイドが表示されます。
（夜景）、（夜景＆人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光＆人物）、（風景）、（マクロ）、（拡大鏡）、（人物）

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 （撮影モード）→ （おまかせオート撮影）

3 MENU → （おまかせシーン認識）→ 好みのモード

✓	（オート）	シーン認識すると、最適な設定に切り換わり、撮影する。
	（アドバンス）	シーン認識すると、最適な設定に切り換わり、（夜景）、（夜景＆人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光＆人物）を認識すると、自動的にもう1枚撮影される。 • 2枚撮影される場合には、のアイコンの+部分が緑色になります。 • 2枚撮影されると、撮影直後の画像は2枚並んで表示されます。 • ［目つぶり軽減］と表示されると自動的に2枚撮影し、目つぶりしていない画像が自動で選ばれます。詳しくは「目つぶり軽減機能とは」をご覧ください。

次のページにつづく↓

ご注意

- デジタルズーム撮影時は、おまかせシーン認識は働きません。
- 以下の場合は、[オート]で固定されます。
  – かんたんモード中
  – スマイルシャッター中
  – [セルフタイマー]が[自分撮り1人]または[自分撮り2人]のとき
  – 連写時
- [顔検出]が[タッチ時]のときは、(人物)、(夜景＆人物)、(逆光＆人物)は認識できません。
- [フラッシュ]は、[オート]または[発光禁止]になります。
- (三脚夜景)認識は、カメラを三脚に固定していてもカメラに振動が伝わる環境では認識できない場合があります。
- (三脚夜景)認識されると、スローシャッターになる場合があります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにしてください。
- シーン認識マークは[表示設定]の設定にかかわらず表示されます。
- 状況によっては、これらのシーンはうまく認識されない場合があります。

2枚撮りで好みの画像を選べ、さらに便利に！（アドバンスモード）

[アドバンス]では、失敗しがちな(夜景)、(夜景＆人物)、(三脚夜景)、(逆光)、(逆光＆人物)を認識すると、下記のように設定を変えて、効果の異なる2枚の画像を撮影します。
後からお好みの1枚を選ぶことができます。

	1枚目*	2枚目
	スローシンクロで撮影	感度を上げて、ブレを軽減して撮影
	フラッシュがあたっている顔を基準にスローシンクロで撮影	顔を基準に感度を上げて、ブレを軽減して撮影
	スローシンクロで撮影	よりスローシャッターにし、感度は上げずに撮影
	フラッシュを使って撮影	背景の明るさ、コントラストを調整して撮影(DROplus)
	フラッシュがあたっている顔を基準に撮影	顔と背景の明るさ、コントラストを調整して撮影(DROplus)

* [フラッシュ]は[オート]の場合です。

目つぶり軽減機能とは

[アドバンス]に設定して撮影したとき、(人物)認識時はカメラが自動的に2枚撮影*し、目つぶりしていない画像が自動選択されます。目をつぶっている画像しか撮影できなかった場合は、「目つぶりを検出しました」というメッセージが表示されます。

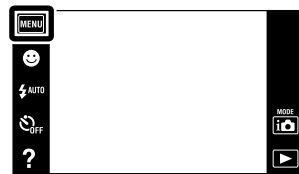
* フラッシュ発光時または、スローシャッター時を除く

美肌効果

顔検出時、被写体の肌をなめらかに撮影する効果を設定します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → OFF（美肌効果） → 好みのモード

撮影モードによっては、画面左側に表示されるボタンから設定する。

✓	OFF（切）	美肌効果を使わない。
	Lo（低）	美肌効果を弱めにして撮影する。
	Mid（中）	美肌効果を標準にして撮影する。
	Hi（高）	美肌効果を強めにして撮影する。

ご注意

- シーンセレクションが（美肌）のとき[切]は選べません。
- 被写体によっては、効果があらわれないことがあります。

顔検出

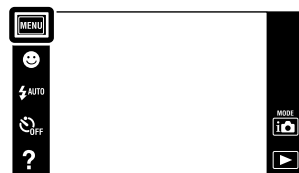
カメラが人物の顔を判別して、フォーカス/フラッシュ /明るさ（EV補正）/色合い（ホワイトバランス）/赤目軽減発光の調整をします。

顔検出枠（オレンジ色）
複数の顔を検出している場合、カメラが主要被写体を判断して優先的にピントを合わせます。
主要被写体は顔検出枠がオレンジ色になります。
シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った枠は緑色になります。

顔検出枠（白色）

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → （顔検出） → 好みのモード

撮影モードによっては、画面左側に表示されるボタンから設定する。

	（タッチ時）	画面の顔部分にタッチしたとき顔検出をする。
✓	（オート）	カメラまかせでピント合わせする顔を選ぶ。
	（こども優先）	子どもの顔を優先してピント合わせする。
	（おとな優先）	大人の顔を優先してピント合わせする。

ご注意

- 以下の場合は、[顔検出]は選べません。
  - スイングパノラマ撮影時
  - 水中スイングパノラマ撮影時（DSC-T110のみ）
  - 動画撮影時
  - かんたんモード中
- [セルフタイマー]が[自分撮り1人]または[自分撮り2人]のときは[タッチ時]は選べません。
- [フォーカス]が[マルチAF]、[測光モード]が[マルチ]のときのみ、[顔検出]は選べます。
- デジタルズームのとき、顔検出機能は働きません。
- 最大8人の顔を検出できます。
- 状況によっては大人、子どもが正しく検出できない場合があります。
- スマイルシャッター撮影するときは、[顔検出]を[タッチ時]に設定しても自動的に[オート]になります。

次のページにつづく↓

優先したい顔を選択する

通常は[顔検出]での設定に合わせ、カメラまかせでピントを合わせる顔を選びますが、優先したい顔を自分で選ぶこともできます。

① 顔検出中に、選択したい顔をタッチする。
タッチした顔が優先顔として選択され、枠がオレンジ色の[ ]に変わる。
② 顔をタッチするたびに、選択が更新される。
③ 選択を解除したい場合は をタッチする。

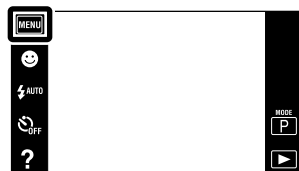
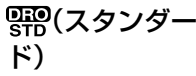
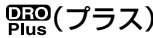
- 周囲の明るさ、被写体の髪型などによって選択した顔が正しく検出できない場合があります。
- 顔検出枠を選択してスマイルシャッターを実行すると、その顔だけがスマイル検知の対象になります。
- かんたんモード中、[セルフタイマー]が[自分撮り1人]または[自分撮り2人]のときは、顔の選択はできません。

DRO

撮影シーンを分析し、自動補正をおこなって画質を向上させます。
DROとは「Dynamic Range Optimizer」の略で、画像の明暗の差を最適になるように自動補正する機能のことです。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 iO（撮影モード）→P（プログラムオート撮影）

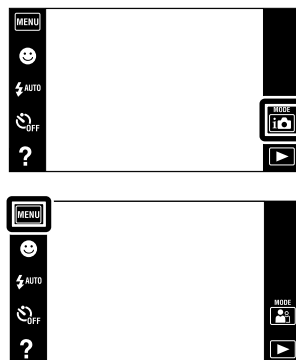
3 MENU → DRO STD（DRO）→ 好みのモード

	DRO OFF（切）	補正しない。
✓	DRO STD（スタンダード）	撮影画像の明るさ、コントラストを自動補正する。
	DRO Plus（プラス）	撮影画像の明るさ、コントラストを強めに自動補正する。

ご注意

- 撮影状況によっては、補正効果を得ることができない場合があります。
- ［プラス］のとき、ISOの値は、［ISO AUTO］、［ISO 80］ ～ ［ISO 800］までしか選べません。

目つぶり軽減

シーンセレクションで（美肌）、（ソフトスナップ）を選んで撮影したときに、カメラが自動的に2枚撮影し、目つぶりしていない画像が自動選択され表示、記録されます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 （撮影モード）→ SCN（シーンセレクション）→（美肌）または（ソフトスナップ）
3 MENU →（目つぶり軽減）→ 好みのモード

✓	（オート）	顔検出したとき、目つぶり軽減機能が働き、目つぶりしていない画像を記録する。
	（切）	目つぶり軽減機能を使わない。

ご注意

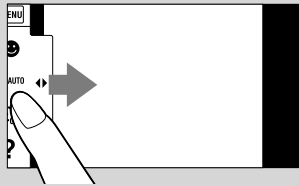
- 以下の場合は、目つぶり軽減機能は働きません。
  – フラッシュ発光時
  – 連写時
  – 顔検出が働かないとき
  – スマイルシャッター中
- 状況によっては目つぶり軽減できない場合があります。
- 目つぶり軽減機能を[オート]にしても、目を閉じている画像しか記録されなかった場合には、液晶画面に「目つぶりを検出しました」と表示されます。必要に応じて再度、撮影してください。

表示設定

撮影時、画面に操作ボタンを表示するかどうか設定します。

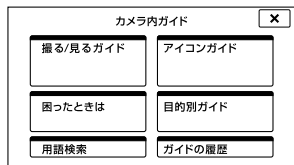
1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする
2 MENU → (表示設定) → 好みのモード

✔	(入)	操作ボタンを表示する。	
	(切)	表示しない。	

[切]のときに、操作ボタンを表示させるには

画面左側をタッチして右になぞると、操作ボタンを表示できます。

カメラ内ガイド

本機はカメラ内に使いかたの情報を収録し、「知りたいこと」、「したいこと」をその場で探すことができます。
また、確認した後は、そのモードを実際に使ってみることもできます。

カメラ内ガイド
撮る/見るガイド
アイコンガイド
困ったときは
目的別ガイド
用語検索
ガイドの履歴

1 ?(カメラ内ガイド)をタッチする

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENUをタッチして表示する。

2 ガイドの検索方法を選ぶ

ガイド項目	項目の説明
撮る/見るガイド	撮影モードごとに、操作可能な機能について調べる。
アイコンガイド	現在表示されているアイコンの機能、意味を調べる。
困ったときは	よくあるお問い合せとその対処方法を調べる。
目的別ガイド	「したいこと」から検索して、その機能を調べる。
用語検索	キーワードから検索して、その機能を調べる。
ガイドの履歴	これまで見たガイド履歴を10件表示する。

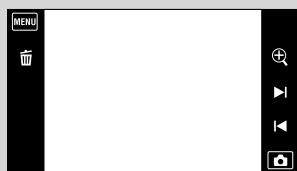
かんたんモード

撮影した静止画をみるとき、文字が大きくなり、表示が見やすくなります。
使える機能も最低限になります。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → EASY(かんたんモード) → [OK]

ご注意

- 液晶画面の明るさが自動的に明るくなるため、バッテリーの消費が速くなります。
- 撮影モードも[かんたんモード]になります。

かんたんモード(再生)時に使用できる機能

(削除)：見ている画像を削除する。
(ズーム)：再生した画像を拡大する。

- 上下左右になぞる、または▲/▼/◀/▶でズーム位置を変更できます。⊕/⊖で倍率変更できます。

MENU ：
[1枚削除]で、見ている画像を削除する。
[全て削除]で、日付・フォルダ内すべての画像を削除する。
[かんたんモード終了]で、かんたんモードを終了する。

- メモリーカード使用時、[ビューモード]は[日付ビュー]になります。

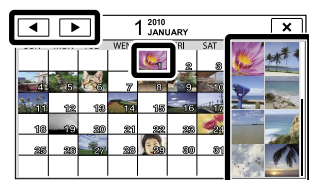
カレンダー表示

日付ビューのとき、カレンダー画面から再生する日付を選べます。
すでに日付ビューの設定になっている場合は、手順2は不要です。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → (ビューモード) → (日付ビュー)

3 (カレンダー表示)をタッチする
画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENU をタッチして設定する。

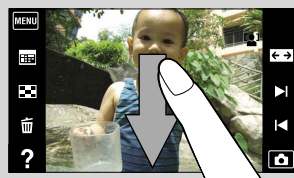
4 ◀/▶で表示したい月を選び、日付をタッチする
選択した日付の画像を上下になぞると、ページの送り戻しができ、画像をタッチすると1枚再生に戻る。

選択した日付の画像

ご注意

- 内蔵メモリー使用時は表示されません。

画面をなぞってカレンダー画面を表示する

日付ビューで再生しているとき、画面を下になぞることでもカレンダー画面を表示できます。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

一覧表示

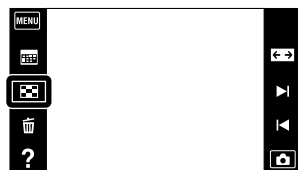
同時に複数の画像を表示させます。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 ▦(一覧表示)をタッチする

画面左側にボタンが表示されていない場合は、MENU をタッチして設定する。

3 画面を上下になぞり、ページを送る

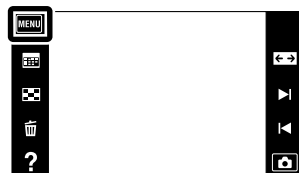
一覧表示画面で画像をタッチすると1枚再生に戻る。

一覧表示の枚数を変更する

1枚再生時、MENU → [一覧表示枚数] → [12枚]または[28枚]で表示枚数を変更できます。

スライドショー

画像を自動的に連続再生します。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → (スライドショー) → 好みのモード

(連続再生)	表示している画像から、最新の画像までを連続再生する。
(音楽付スライドショー)	画像に効果や音楽を付けて連続再生する。

ご注意

- [ビューモード]が[フォルダビュー(動画)]のとき、[スライドショー]で再生できません。

連続再生

1 再生を開始したい画像を選ぶ

2 MENU → (スライドショー) → [連続再生]

3 終了するときは、画面をタッチして[連続再生終了]をタッチする

- 動画の音量を調節するには画面をタッチして + または - で調節してください。

連続再生中にパノラマ画像を見るときは

パノラマ画像は全体画像を3秒間表示します。
▶をタッチするとスクロール再生を行います。

音楽付きスライドショー

1 MENU → (スライドショー) → [音楽付スライドショー]
2 好みの設定 → [実行]
3 終了するときは、画面をタッチして[スライドショー終了]をタッチする

ご注意

- パノラマ画像は、[音楽付スライドショー]で再生できません。

再生画像 再生する画像のグループを設定する。内蔵メモリー使用時は[フォルダ内]に固定される。		
✓	**全て**	すべての画像を順番に再生する。
	この日付	[ビューモード]が(日付ビュー)のとき、選択中の日付内の画像を再生する。
	フォルダ内	フォルダビューのとき、選択中のフォルダ内の画像を再生する。

エフェクト スライドショーの再生テンポや雰囲気を設定する。動画の再生時間が長い場合、画像を切り取って表示する。		
✓	**シンプル**	画像を一定間隔で送るシンプルなスライドショー。[間隔設定]で再生間隔が変更でき、画像そのものをじっくりと楽しむことができる。
	ノスタルジック	映画の1シーンのようなムードあるスライドショー。
	スタイリッシュ	ミドルテンポのスタイリッシュなスライドショー。
	アクティブ	アクティブなシーンに合ったハイテンポなスライドショー。

BGM スライドショーとともに再生する音楽を設定する。複数のBGMを選ぶことができ、をタッチすると各BGMを試聴できる。BGMの音量はまたはで調節する。		
✓	Music1	[エフェクト]が[シンプル]のときの初期設定。
	Music2	[エフェクト]が[ノスタルジック]のときの初期設定。
	Music3	[エフェクト]が[スタイリッシュ]のときの初期設定。
	Music4	[エフェクト]が[アクティブ]のときの初期設定。
	消音	BGMはつけない。

ご注意

- 動画の音声は流れません。

次のページにつづく↓

間隔設定 画面が切り替わる間隔を設定する。[エフェクト]が[シンプル]のとき以外は[オート]に固定される。		
	1秒	[エフェクト]が[シンプル]のときのみ。
✓	3秒	
	5秒	
	10秒	
	オート	選択している[エフェクト]に適した間隔になる。

ご注意

- 動画再生の場合は、間隔設定は無効になります。

リピート スライドショーを繰り返し行うかどうかを設定する。		
✓	入	繰り返しスライドショーする。
	切	1回スライドショーする。

好きな曲をBGMにする♪

お手持ちの音楽CDやMP3ファイルからお好みの曲(BGMファイル)を本機に転送し、スライドショーとともに再生できます。BGMファイルを転送するには、付属のソフトウェア「Music Transfer」をパソコンにインストールして行います。詳しくは、131、132ページをご覧ください。

- 本機には4曲までBGMを記録できます。(出荷時には、4曲分(Music1 ～ 4)すべてのBGMが用意されていますが、お好みの曲と入れ換えることができます。)
- 本機で再生できる曲の長さは、1曲最長5分までです。
- BGMファイルが破損するなどして再生ができない場合は、[BGMデータ消去](113ページ)を行って、あらためてBGMファイルを本機に転送し直してください。

削除

不要な画像を選んで削除できます。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする
2 (削除) → 好みのモード

(この画像)	1枚再生時に見ている画像を削除する。
(画像選択)	画像を何枚か選んで削除する。 手順2の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選び、削除したい画像をタッチする。 削除したい画像があるだけ繰り返す。 ✓マークが付いた画像をもう一度タッチすると、削除の選択は解除される。 ② [OK] → [OK]をタッチする。
(この日の画像全て) (フォルダ内全て)	選択している日付・フォルダ内すべての画像をまとめて削除する。 手順2の後に、[OK]をタッチする。

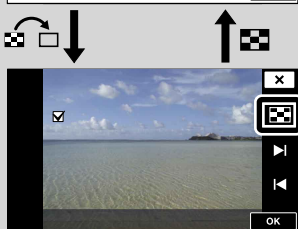
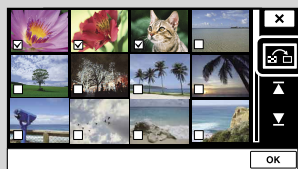
ご注意

- 内蔵メモリー使用時はフォルダビューで表示され、静止画と動画を一緒のフォルダで表示します。

かんたんモード

1枚削除	見ている画像を削除する。
全て削除	日付・フォルダ内すべての画像を削除する。

次のページにつづく↓

一覧表示、1枚再生を切り換えながら選べます

(画像選択)を選び、一覧表示時にをタッチすると1枚再生に、1枚再生時にをタッチすると一覧表示になります。

- プロテクト、TransferJet送信、DPOFのときも切り換えられます。

TransferJet送信

TransferJetとは、通信したい製品同士を合わせることでデータ送信できる、近接無線転送技術です。
お使いのカメラにTransferJet機能が搭載されているかどうかは、本体底面の（TransferJet）マークを確認してください。
TransferJet搭載"メモリースティック"（別売）を使用すると、TransferJet対応機器との間で画像を転送できます。
TransferJetについて詳しくは、TransferJet搭載"メモリースティック"の取扱説明書もご覧ください。

1 TransferJet 搭載"メモリースティック"を本機に入れ、▶（再生）ボタンを押す

2 MENU → （TransferJet送信）→ 好みのモード

3 本機と相手機器の（TransferJet）マークを合わせて画像を送信する
接続されると通知音が鳴る。

（この画像）	1枚再生時に見ている画像を送信する。
（画像選択）	画像を何枚か選んで送信する。 手順2の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選び、送信したい画像をタッチする。 送信したい画像があるだけ繰り返す。 ✔マークが付いた画像をもう一度タッチすると、送信の選択は解除される。 ② [OK] → [OK]をタッチする。

ご注意

- 送信できる画像は静止画のみです。
- 1度に送信できるのは10枚までです。
- あらかじめ、MENU → （設定）→ （本体設定）で[TransferJet]を[入]にしてください（115ページ）。
- 飛行機の中では、MENU → （設定）→ （本体設定）で[TransferJet]を[切]にしてください（115ページ）。その他、ご利用になる場所の規制に従ってお使いください。
- 約30秒送信できないと接続を中断します。その場合は再送確認画面で[はい]を選んで、再度本機と相手機器の（TransferJet）マークを近づけてください。
- 法規制や法規制対応時期などにより、国や地域によってはTransferJet 搭載"メモリースティック"また、TransferJet機能搭載モデルは発売されておりません。
- お買い上げの国や地域以外では、[TransferJet]を[切]にしてください。国や地域によっては電波制限があるため、TransferJet機能を使用した場合、罰せられることがあります。

TransferJetで画像を受信する

1 ▶(再生)ボタンを押して、本機の電源を入れる

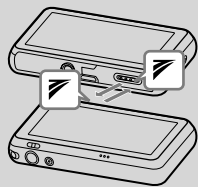
2 本機と送信機器の (TransferJet)マークを合わせて、画像を受信する

接続されると通知音が鳴る。

ご注意

- 本機で再生できる画像のみ送受信できます。
- 保存中に管理ファイルエラーが発生した場合、管理ファイル修復画面が表示されます。
- 管理ファイルに登録できなかった画像は[フォルダビュー(静止画)]で再生してください。

データをうまく送受信するポイント

本機と相手側の (TransferJet)マークを合わせてください。

- (TransferJet)マークを合わせる角度によっては、通信の速度や範囲が変わります。
- 通信状態が悪い場合、本機の位置や角度を少し動かして、通信しやすい位置を見つけてください。
- 図のようにカメラ同士を平行にして (TransferJet)マークを合わせると送受信しやすくなります。

別売のTransferJet対応機器を使う

別売のTransferJet対応機器を使うとパソコンへの画像送信など、さらにデータ送信の楽しみ方が広がります。

詳しくは、TransferJet対応機器の取扱説明書をご覧ください。

- TransferJet対応機器をお使いの場合、以下の点にご注意ください。
  - あらかじめ、本機を再生モードにしてください。
  - 画像が表示されない場合、MENU → (設定) → (本体設定) → [LUN設定]を[シングル]にしてください。
  - 接続中、本機への書き込みや削除はできません。
  - 「PMB」に画像を取り込み中、接続を中断しないでください。

ペイント

静止画に描き込みをして、新しいファイルとして記録します。
元の画像はそのまま残ります。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → (ペイント)

内蔵メモリー時は、画面左側に表示される(ペイント)をタッチする。

3 ペイントペン（付属）を使って描きこむ

4 またはボタンをタッチ → 保存する画像サイズを選ぶ

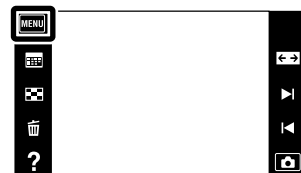
	ボタン		できること
1	/	保存	内蔵メモリー、メモリーカードにVGAまたは5Mで保存する。
2		ペン	文字や絵を描く。
3		消しゴム	間違いを消す。
4		スタンプ	スタンプを押す。
5	・/♥	太さ/スタンプ	ペンと消しゴムの太さ/スタンプの種類を選ぶ。
6	■	色	色を選ぶ。
7	×	終了	ペイントを終了する。
8		フレーム	フレームを付ける。 ◀/▶でお好みのフレームを選ぶ。
9		戻る	一つ前の状態に戻る。
10		オールクリア	ペイントを全部消す。

ご注意

• パノラマ画像、動画はペイントできません。

加工

撮影した画像を加工し、新しいファイルとして記録します。
元の画像はそのまま残ります。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → （加工）→ 好みのモード
3 各モードの操作方法に従って、実行する

（トリミング（リサイズ））	再生ズームの画像を一部切り取る。 ⊕/⊖をタッチする → ▲/▼/◀/▶で位置調整する → NEXT → ◀/▶ で保存する画像サイズを選ぶ → NEXT → [OK] • トリミングすると画質は劣化します。 • 画像によってトリミングできる画像サイズは異なります。
（赤目補正）	フラッシュ撮影時に赤く映った目を補正する。 赤目補正が完了したら、[OK]をタッチする。 • 画像によっては補正できない場合があります。
（ピントくっきり補正）	中心とする枠を決め、画像をくっきりと補正する。 中心とする枠をタッチする → NEXT → [OK] • 画像によっては、充分な補正がかからなかったり、画像が劣化する場合があります。

ご注意

• パノラマ画像、動画は加工できません。

ビューモード

画像を表示する方法を選びます。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → (ビューモード) → 好みのモード

✓	(日付ビュー)	日付ごとに分けて表示する。
	(フォルダビュー(静止画))	静止画を表示する。
	(フォルダビュー(動画))	動画を表示する。

ご注意

- 内蔵メモリー使用時はフォルダビューで表示され、静止画と動画を一緒のフォルダで表示します。

他機で撮影した画像を見るときは

本機はメモリーカードに管理ファイルを作成して画像を記録し再生します。本機がメモリーカードの管理ファイルに未登録の画像を認識した場合、「本機で管理されていない画像が見つかりました 登録します」という登録画面が表示されます。
管理されていない画像を見るときは、[OK]を選んで画像を登録してください。

- 画像を登録するときは充分に充電したバッテリーをご使用ください。残量の少ないバッテリーを使用して未登録の画像を登録すると、バッテリー切れのためデータを転送できなかったり、データを破損するおそれがあります。

プロテクト

撮影した画像を誤って消さないように保護（プロテクト）します。
登録された画像には⊶マークが表示されます。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → ⊶（プロテクト）→ 好みのモード

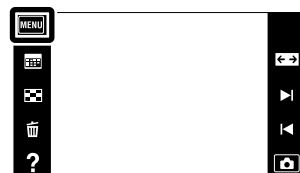
（この画像）	1枚再生時に見ている画像をプロテクトする。
（画像選択）	画像を何枚か選んでプロテクトする。 手順2の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選び、プロテクトしたい画像をタッチする。 プロテクトしたい画像があるだけ繰り返す。 ✓マークが付いた画像をもう一度タッチすると、プロテクトの選択は解除される。 ② ［OK］ → ［OK］をタッチする。
（この日の画像全て設定）	選択している日付・フォルダ内すべての画像のプロテクトを設定する。 手順2の後に［OK］をタッチする。
（フォルダ内全て設定）	
（この日の画像全て解除）	選択している日付・フォルダ内すべての画像のプロテクトを解除する。 手順2の後に［OK］をタッチする。
（フォルダ内全て解除）	

ご注意

• 内蔵メモリー使用時はフォルダビューで表示され、静止画と動画を一緒のフォルダで表示します。

DPOF

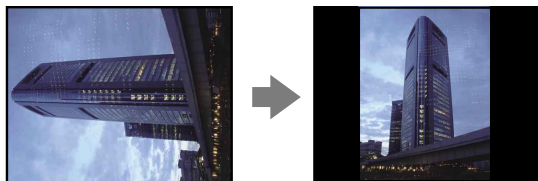
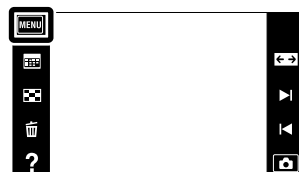
DPOFとは「Digital Print Order Format」の略です。プリントしたい画像をメモリーカード上に指定することができます。
登録された画像にはDPOFマークが表示されます。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → DPOF → 好みのモード

DPOF(この画像)	1枚再生時に見ている画像をプリント予約する。
DPOF(画像選択)	画像を何枚か選んでプリント予約する。 手順2の後に、以下の操作をしてください。 ① 画像を選び、プリント予約したい画像をタッチする。 プリント予約したい画像があるだけ繰り返す。 ✓マークが付いた画像をもう一度タッチすると、プリント予約の選択は解除される。 ② [OK] → [OK]をタッチする。
DPOF ON(この日の画像全て設定)	選択している日付・フォルダ内すべての画像のプリント予約を設定する。 手順2の後に[OK]をタッチする。
DPOF ON(フォルダ内全て設定)	
DPOF OFF(この日の画像全て解除)	選択している日付・フォルダ内すべての画像のプリント予約を解除する。 手順2の後に[OK]をタッチする。
DPOF OFF(フォルダ内全て解除)	

ご注意

- 動画、内蔵メモリー内の画像のときは、プリント予約マークが付けられません。
- プリント予約マークは999枚まで付けられます。

回転

静止画を左右に回転します。横向きに表示されている画像を、縦に表示したいときに使います。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → ↶□↱（回転）
3 ↶/↷ → [OK]

ご注意

- 動画、プロテクトされている画像は、回転できません。
- 他機で撮影した画像は本機では回転できないことがあります。
- パソコンで画像を見るとき、ソフトウェアによっては画像の回転情報が反映されない場合があります。

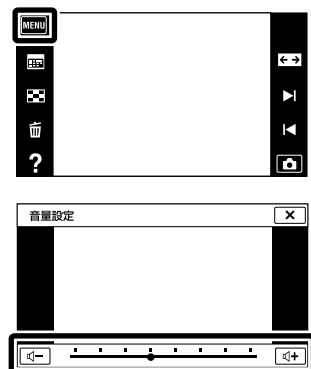
音量設定

スライドショー、動画再生時の音量を調節します。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → 🔈(音量設定)

3 🔈+または🔈−をタッチして調節 → ✕

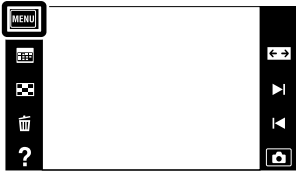
音量調節バーの●をタッチしたまま、左右になぞることでも音量調節できる。

動画再生中、スライドショー中に調節するには

動画再生： 画面をタッチして操作ボタンを表示させ、🔈をタッチして🔈+または🔈−で調節します。

スライドショー： 画面をタッチして🔈+または🔈−で調節します。

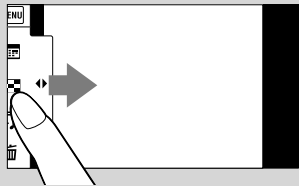
表示設定

再生時、画面に操作ボタンを表示するかどうか設定します。

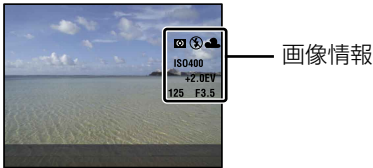
1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → ON(表示設定) → 好みのモード

✓	ON(入)	操作ボタンを表示する。	MENU
	OFF(切)	表示しない。	

[切]のときに、操作ボタンを表示させるには

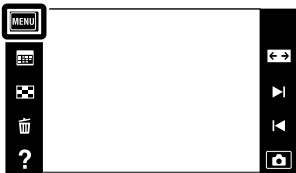
画面左側をタッチして右になぞると、操作ボタンを表示できます。

目次
やりたいことから探す
MENU/設定一覧から探す
索引

画像情報

液晶画面に表示しているファイルの画像情報を表示するかどうか設定します。

ISO400
+2.0EV
125 F3.5

画像情報

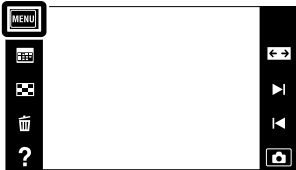
1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → (画像情報) → 好みのモード

	ON(入)	画面に画像情報を表示する。
✓	OFF(切)	表示しない。

一覧表示枚数

一覧表示時、画像を表示する枚数を設定します。

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする

2 MENU → ⊞28（一覧表示枚数） → 好みのモード

	⊞12（12枚）	12枚で表示する。
✓	⊞28（28枚）	28枚で表示する。

再生フォルダ選択

メモリーカード内に複数のフォルダがあるとき、再生したい画像の入っているフォルダを選びます。
すでにフォルダビューの設定になっている場合は、手順2は不要です。

1 ▶(再生)ボタンを押して、再生モードにする
2 MENU → (ビューモード) → [フォルダビュー(静止画)]、または[フォルダビュー(動画)]
3 MENU → (再生フォルダ選択) → ▲/▼で再生したいフォルダを選択 → [OK]

ご注意

- 内蔵メモリー使用時は表示されません。

フォルダをまたいで画像を見るには

複数のフォルダがあるときは、フォルダ内の最初/最後の画像に下記のマークが表示されます。

- ：前のフォルダに移動可能
- ：後ろのフォルダに移動可能
- ：前/後のフォルダに移動可能

AF補助光

AF補助光とは、暗所でフォーカスを合わせるための補助光です。シャッターボタンを半押ししてフォーカスがロックされるまでの間、自動的に赤い補助光が発光して、フォーカスを合わせやすくします。このとき画面にが表示されます。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → （設定）→ （撮影設定）→ [AF補助光] → 好みのモード

✓	**オート**	AF補助光を使用する。
	切	使用しない。

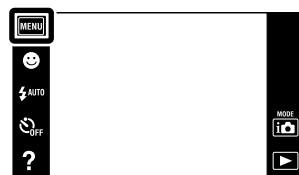
ご注意

- AF補助光の光が画像の中心からずれる場合がありますが、光が被写体に届いていれば、フォーカスは合います。
- 以下の場合は、AF補助光は使えません。
  - スイングパノラマ撮影時
  - 水中スイングパノラマ撮影時（DSC-T110のみ）
  - シーンセレクションが（風景）、（夜景）、（ペット）、（打ち上げ花火）、（高速シャッター）に設定されているとき
  - [ハウジング]が[入]のとき（DSC-T110のみ）
  - [セルフタイマー]が[自分撮り1人]または[自分撮り2人]のとき
- AF補助光を使用するときは、AF測距枠設定は無効になり、AF測距枠は点線で表示されます。中央付近の被写体を優先したAF動作になります。
- AF補助光は明るい光です。安全には問題ありませんが、至近距離で直接人の目に当たらないようにお使いください。

グリッドライン

グリッドラインを画面に表示して撮影すると、グリッドラインを基準にして水平/垂直のライン合わせができます。

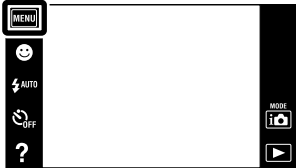
1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → (設定) → (撮影設定) → [グリッドライン] → 好みのモード

	入	グリッドラインを表示する。グリッドラインは記録されない。
✓	切	表示しない。

表示画質モード

液晶画面に表示される画像の画質を調節できます。ただし、[高画質]に設定した場合は、バッテリーの消費は速くなります。

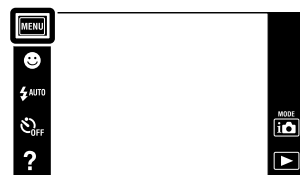
1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → (設定) → (撮影設定) → [表示画質モード] → 好みのモード

✓	**標準**	液晶画面に表示される画像を標準画質で表示する。
	高画質	液晶画面に表示される画像を高画質で表示する。

デジタルズーム

デジタルズームの設定をします。本機はレンズの倍率（4倍）まで光学ズームを行い、それを超えるとスマート/プレシジョンいずれかのデジタルズームを行います。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → （設定）→ （撮影設定）→ [デジタルズーム] → 好みのモード

✓	スマート（sQ）	画像サイズに応じて、画像が劣化しない範囲内にデジタルズーム倍率を制限する（スマートズーム）。
	プレシジョン（PQ）	画像サイズの設定にかかわらず、光学ズーム4倍含む、総合ズーム倍率約8倍までズームをする。光学ズーム倍率を超えると、画像は劣化する（プレシジョンデジタルズーム）。
	切	デジタルズームを使用しない。

ご注意

- 以下の場合は、デジタルズームできません。
  - スイングパノラマ撮影時
  - 水中スイングパノラマ撮影時（DSC-T110のみ）
  - 動画撮影時
  - スマイルシャッター中
  - [セルフタイマー]が[自分撮り1人]または[自分撮り2人]のとき
- [画像サイズ]が[16M]、[16:9（12M)]のときは、スマートズームできません。
- デジタルズームのとき、顔検出は働きません。

スマートズーム時の総合ズーム倍率（光学ズーム4倍含む）

画像サイズによって、ズームできる倍率は変わります。

画像サイズ	総合倍率
10M	約5.1倍
5M	約7.1倍
VGA	約28倍
16:9（2M）	約9.6倍

縦横判別

縦位置で撮影したとき、回転情報を記録して画像を縦に表示します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → (設定) → (撮影設定) → [縦横判別] → 好みのモード

✓	入	画像の縦横を判別して記録する。
	切	使用しない。

ご注意

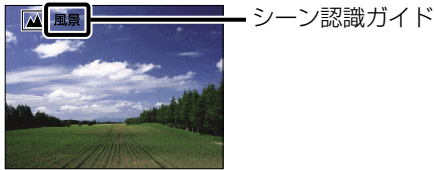
- 縦位置の画像は左右が黒く表示されます。
- 本機の撮影角度によっては、画像の縦横向きを正しく記録できない場合があります。
- 動画撮影時、シーンセレクションが(水中)(DSC-T110のみ)のときは、[縦横判別]は使えません。

撮影後に画像を回転する

画像の向きが正しく記録されなかった場合は、再生メニューの[回転]で画像を縦に表示できます。

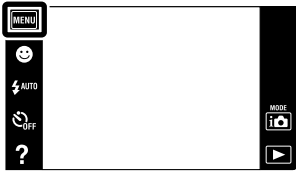
シーン認識ガイド

おまかせシーン認識が働いているとき、シーン認識マークの横に表示されるガイドの有無を設定します。

風景

シーン認識ガイド

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

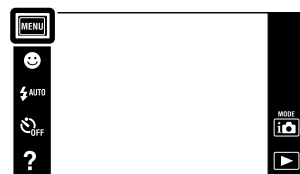
2 MENU → (設定) → (撮影設定) → [シーン認識ガイド] → 好みのモード

MENU AUTO OFF ? MODE

✓	入	シーン認識ガイドを表示する。
	切	表示しない。

赤目軽減

フラッシュ撮影時に目が赤く写るのを軽減するため、フラッシュが2回以上予備発光します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

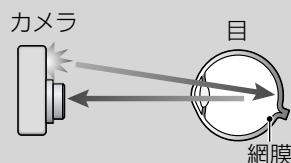
2 MENU → (設定) → (撮影設定) → [赤目軽減] → 好みのモード

✓	オート	顔検出機能が働いているとき、自動で赤目軽減発光する。
	入	常に赤目軽減発光する。
	切	赤目軽減発光しない。

ご注意

- シャッターが切れるまで約1秒かかるので、カメラをしっかり構えて手ブレを防いでください。また、被写体が動かないようにしてください。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や、予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が表れにくいことがあります。
- 顔検出機能を使用しない場合は、[オート]を選択しても赤目軽減は動作しません。
- シーンセレクションが ISO(高感度)のとき、スマイルシャッター中は、[赤目軽減]は[切]になります。

なぜ目が赤く写ってしまうの？

暗い場所では目の瞳孔が開いており、フラッシュ光によって網膜の血管が写し出され、目が赤く写ってしまうことがあります。

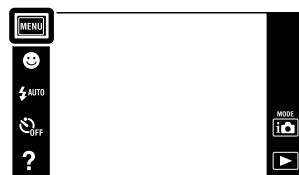
カメラ
目
網膜

その他の軽減方法

- シーンセレクションでISO(高感度)に設定して撮影する。([フラッシュ]は[発光禁止]になります。)
- 赤目で写ってしまった場合は、再生メニューの[加工] → [赤目補正]、または付属のソフトウェア「PMB」で修正する。

目つぶり通知

顔検出機能が働いているとき、目を閉じている画像を記録すると、「目つぶりを検出しました」というメッセージを表示します。

1 レンズカバーを下げて、撮影モードにする

2 MENU → (設定) → (撮影設定) → [目つぶり通知] → 好みのモード

✓	オート	目つぶり通知を表示する。
	切	表示しない。

操作音

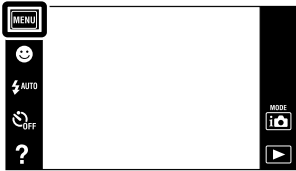
本機を操作したときに鳴る音の設定を変更します。

1 MENU → (設定) → (本体設定) → [操作音] → 好みのモード

	シャッター	シャッターボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。
✓	**大**	タッチパネルを操作したときや、シャッターボタンを押したときなどに、操作音/シャッター音が鳴る。 操作音を小さくしたいときは[小]にする。
	小	
	切	音は鳴らない。

画面の明るさ

液晶画面の明るさを設定します。

1 MENU → (設定) → (本体設定) → [画面の明るさ] → 好みのモード

✓	**標準**	標準の明るさに設定する。
	明るい	標準より明るくする。 • 明るい屋外で使用するときに便利です。

ご注意

- [明るい]に設定した場合、バッテリーの消費は速くなります。
- 電源を入れたまま一定時間操作しないと、液晶画面が暗くなります。
- 動画撮影時に本機の温度が上がると、[画面の明るさ]は[標準]になります。

画面カラー

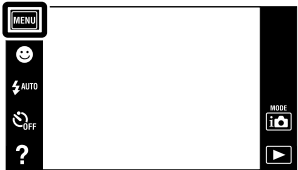
画面のカラーを設定します。

1 MENU → (設定) → (本体設定) → [画面カラー] → 好みのモード

✓	ブラック	画面の背景色を設定する。
	ホワイト	
	ピンク	

デモモード

撮影機能やスマイルシャッターのデモンストレーションの有無を設定できます。デモンストレーションを見る必要のないときは、[切]に設定します。

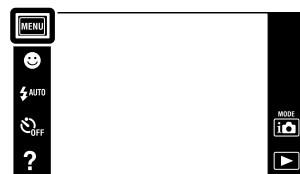
1 MENU → (設定) → (本体設定) → [デモモード] → 好みのモード → [OK]

	デモモード1	撮影機能のデモンストレーションを行う。
	デモモード2	15秒間操作を行わないと自動でスマイルシャッターのデモンストレーションを行う。
✓	切	デモンストレーションを行わない。

ご注意

- スマイルシャッターのデモンストレーション中、シャッターボタンを押すとシャッターは切れますが、画像は記録されません。
- デモンストレーション中は、内蔵メモリーに保存した枚数が多くなると内蔵メモリーの画像を自動的に削除することがあります。

設定リセット

お買い上げ時の設定に戻します。
[設定リセット]を実行しても、画像は削除されません。

1 MENU → （設定）→ （本体設定）→ [設定リセット] → [OK]

ご注意

• 設定リセット中は電源が切れないようにご注意ください。

コンポーネント出力

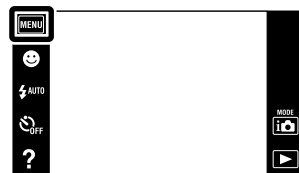
本機とテレビをHD出力アダプターケーブル（別売）を使って接続する場合に、接続するテレビに合わせてビデオ信号の種類を設定します。
「Type3a」対応のHD出力アダプターケーブル（別売）をお使いください。

1 MENU → （設定）→ （本体設定）→ [コンポーネント出力] → 好みのモード

✓	HD(D3)	D3/D4/D5端子があるテレビと接続するときに選ぶ。
	SD	D1/D2端子があるテレビと接続するときに選ぶ。

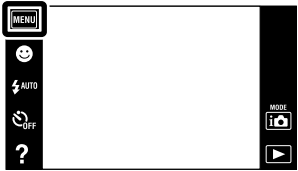
ビデオ信号出力

接続するビデオ機器のカラーテレビ方式に合わせて設定します。

1 MENU → (設定) → (本体設定) → [ビデオ信号出力] → 好みのモード

✓	NTSC	ビデオ信号出力をNTSCモードに設定する(日本、米国など)。
	PAL	ビデオ信号出力をPALモードに設定する(欧州、中国など)。

ハウジング（DSC-T110のみ）

ハウジング（マリンパック）装着時専用の操作ボタンを表示します。ハウジングの取扱説明書も合わせてご覧ください。

1 MENU → （設定）→ （本体設定）→ [ハウジング] → 好みのモード

	入	ボタンの働きを変更する。
✓	**切**	ボタンの働きを変更しない。

ご注意

- 画面をタッチしてピント合わせをすることができません。
- 機能の一部が制限され、液晶画面上のアイコンの配置が変わります。
- [ハウジング]が[入]のときは、日付ビューに固定されます。

USB接続

本機とパソコンまたはUSB機器をUSBケーブルで接続するときのモードを設定します。

1 MENU → (設定) → (本体設定) → [USB接続] → 好みのモード

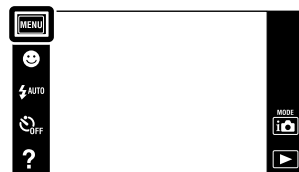
✓	Mass Storage	本機とパソコン、その他USB機器をMass Storage接続する。
	PTP/MTP	本機とパソコンを接続した場合は自動再生ウィザードが起動し、本機に設定されている記録フォルダ内の静止画をパソコンに取り込む。(Windows 7/Vista/XP、Mac OS Xに対応)

ご注意

• [PTP/MTP]では、動画の取り込みはできません。動画をパソコンに取り込むときは、[Mass Storage]に設定してください。

LUN設定

本機をパソコンやAV機器とUSB接続したとき、パソコンなどに表示される記録メディアの表示方法を設定します。

1 MENU → (設定) → (本体設定) → [LUN設定] → 好みのモード

✓	マルチ	メモリーカードと内蔵メモリー両方の画像を表示する。パソコンと接続するときに選ぶ。
	シングル	メモリーカード挿入時はメモリーカードの画像、非挿入時は内蔵メモリーの画像を表示する。パソコン以外の機器と接続したときで、両方の画像が表示されなかった場合に選ぶ。

ご注意

- 「PMB Portable」でネットワークサービスに画像をアップロードする場合は、必ず[LUN設定]を[マルチ]にしてください。

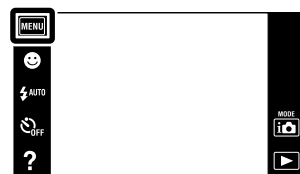
BGMダウンロード

CD-ROM（付属）に収録されている「Music Transfer」を使ってBGMの入れ換えをするときに使用します。

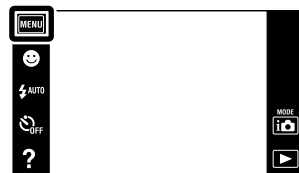
1 MENU → （設定）→ （本体設定）→ [BGMダウンロード]

「スライドショー用の音楽を変更　PCと接続してください」というメッセージが表示される。

2 本機とパソコンをUSB接続し、「Music Transfer」を起動する

3 画面の操作手順に従って、BGMファイルの入れ換えを行う

BGMデータ消去

本機に入っているBGMをすべて削除します。BGMファイルが破損して再生ができない場合などに使います。

1 MENU → (設定) → (本体設定) → [BGMデータ消去] → [OK]

出荷時に保存されていた曲を再び本機に戻すときは

CD-ROM（付属）に収録されている「Music Transfer」を使うと、出荷時の曲を再び本機に戻せます。

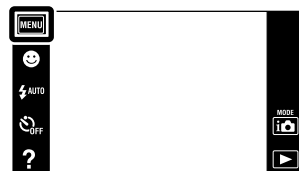
① [BGMダウンロード]を行い、本機とパソコンをUSB接続する。

② 「Music Transfer」を起動して、すべて初期の曲に戻す。

- 「Music Transfer」の使いかたについて詳しくは、「Music Transfer」のヘルプをご覧ください。

パワーセーブ

液晶画面が暗くなるまでの時間と電源が切れるまでの時間を設定します。バッテリー使用時、電源を入れたまま一定時間操作しないと、バッテリーの消耗を防ぐため画面は暗くなり、その後自動で電源が切れます（オートパワーオフ）。

1 MENU → （設定）→ （本体設定）→ ［パワーセーブ］→ 好みのモード

	スタミナ	バッテリーの消耗を強く防ぐ。 本機を一定時間操作しないと、自動で電源が切れる。撮影時は電源が切れる前に液晶画面が暗くなる。
✓	**標準**	本機を一定時間操作しないと、自動で電源が切れる。撮影時は電源が切れる前に液晶画面が暗くなる。 ［スタミナ］よりも電源が切れるまでの時間が長い。
	切	オートパワーオフを使わない。

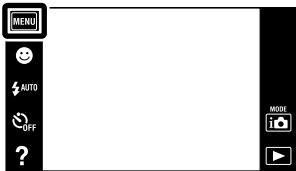
ご注意

- 以下の場合は、オートパワーオフしません。
  - スライドショー中
  - 動画再生中
  - Eye-Fi接続中

TransferJet

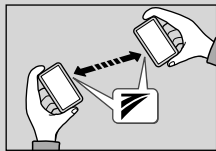
TransferJetの通信設定をします。
TransferJet とは、通信したい製品同士を合わせることでデータ送信ができる、近接無線転送技術です。
お使いのカメラにTransferJet機能が搭載されているかどうかは、本体底面の (TransferJet)マークを確認してください。
TransferJet搭載"メモリースティック"(別売)を使用すると、TransferJet対応機器との間で画像を転送できます。

TransferJetについて詳しくは、TransferJet搭載"メモリースティック"の取扱説明書もご覧ください。

1 **MENU → (設定) → (本体設定) → [TransferJet] → 好みのモード**

✓	入	TransferJetで通信をする。
	切	TransferJetで通信をしない。

ご注意

- かんたんモード時は[TransferJet]は[切]に固定されます。
- 飛行機の中では[TransferJet]を[切]にしてください。その他、ご利用になる場所の規制に従ってお使いください。
- 約30秒送信できないと接続を中断します。その場合は再送確認画面で[はい]を選んで、再度本機と相手機器の (TransferJet)マークを近づけてください。
- 法規制や法規制対応時期などにより、国や地域によってはTransferJet搭載"メモリースティック"また、TransferJet機能搭載モデルは発売されておりません。
- お買い上げの国や地域以外では、[TransferJet]を[切]にしてください。国や地域によっては電波制限があるため、TransferJet機能を使用した場合、罰せられることがあります。

TransferJetとは

TransferJet 搭載"メモリースティック"をカメラに挿入し、対応機種同士の (TransferJet)マークを合わせることで画像データの送受信を行え、画像をシェアできます。画像送信については81ページをご覧ください。

Eye-Fi

市販のEye-Fiカードを使うときに、アップロード機能を使うかどうかを設定します。
Eye-Fiカードがカメラに入っているときのみ表示されます。

1 MENU → (設定) → (本体設定) → [Eye-Fi] → 好みのモード

✓	入	アップロード機能を使用する。 通信状態によって、画面上のアイコンが変わる。 待機中で、送信画像が無い アップロード待機中 接続中 アップロード中 エラー発生
	切	アップロード機能を使用しない。

ご注意

- Eye-Fiカードはアメリカ、カナダ、日本、EUの一部の国で販売しています。（2010年12月現在）
- Eye-Fiカードに関する問い合わせは、その製造者・販売者に直接ご確認ください。
- Eye-Fiカードはお買い上げの国のみで使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使いください。
- Eye-Fiはワイヤレス LAN機能を持っています。飛行機の中など使用を禁止される場所ではEye-Fiカードを本機に入れないでください。入っている場合は[Eye-Fi]を[切]にしてください。アップロード機能が[切]になっていると画面上にOFFが表示されます。

Eye-Fiカードを使って画像を転送する

1 Eye-Fiカードに無線LANアクセスポイントや転送先などを設定する

詳しくはEye-Fiカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

2 設定が終了したEye-Fiカードをカメラに入れ、撮影する

撮影した画像が、無線LANにより自動的にパソコンなどに送信される。

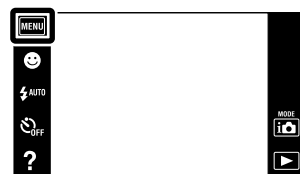
次のページにつづく↓

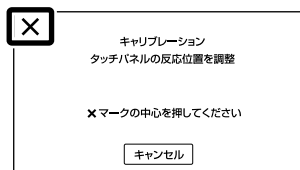
ご注意

- 新しいEye-Fiカードを初めて使うときは、カードをフォーマットする前に、カードに書き込まれているPCアプリケーションのインストールファイルをパソコンにコピーしてください。
- Eye-Fiカードは、ファームウェアを最新版にバージョンアップしてからお使いください。バージョンアップについて詳しくは、Eye-Fiカードに付属の取扱説明書をご覧ください。
- アップロード中はパワーセーブ機能は働きません。
- (エラー発生)が表示された場合は、メモリーカードを抜き差しするか、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、Eye-Fiカードが壊れている可能性があります。詳しくはEye-Fi社へお問い合わせください。
- 無線LANの通信は他の通信機器の影響を受けることがあります。通信状態が良くないときは、接続先のアクセスポイントに近づけてください。
- アップロードできるコンテンツについてはEye-Fiカードに付属の取扱説明書をご覧ください。
- Eye-Fiカードにはエンドレスモードを搭載している製品がありますが、本機ではエンドレスモードには対応していません。Eye-Fiカードを使用する前に、エンドレスモードは必ずoffに設定してください。エンドレスモードの設定方法についてはEye-Fiカード付属の取扱説明書をご覧ください。

キャリブレーション

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。このような症状になったときキャリブレーションを行います。

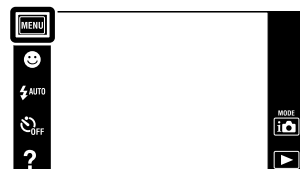
1 MENU → (設定) → (本体設定) → [キャリブレーション]

2 ペイントペンを使って画面に表示される×マークの中心を順番に押していく

キャリブレーション
タッチパネルの反応位置を調整
×マークの中心を押してください
キャンセル

ご注意

- [キャンセル]をタッチしてキャリブレーションを途中でやめた場合は、ここまでの調整は反映されません。
- 正しい位置を押さなかった場合、キャリブレーションが行われません。×マークの中心を押しなおしてください。

フォーマット

メモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマット（初期化）します。
メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機で初めてお使いになる場合には、まず本機でフォーマットすることをおすすめします。
フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

1 MENU → （設定）→ （メモリーカードツール）、または （内蔵メモリーツール）→ [フォーマット] → [OK]

ご注意

- フォーマットすると、プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

記録フォルダ作成

メモリーカードの中に新しいフォルダを作成します。
画像は、違うフォルダを選ぶか、更に新しいフォルダを作成するまでそのフォルダに記録されます。

1 MENU → (設定) → (メモリーカードツール) → [記録フォルダ作成] → [OK]

ご注意

- 内蔵メモリー使用時は表示されません。
- 他機で使用していたメモリーカードを本機に入れて撮影すると、自動的に新しいフォルダを作成する場合があります。
- 1つのフォルダに記録できる画像は最大4000枚です。フォルダ容量を超えると、自動的に新しいフォルダが作成されます。

フォルダについて

新しいフォルダを作ると、記録先フォルダを変更したり（121ページ）、再生時のフォルダを選択（93ページ）できます。

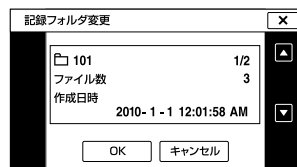
記録フォルダ変更

メモリーカードの中の、画像を記録するフォルダを変更します。

1 MENU → (設定) → (メモリーカードツール) → [記録フォルダ変更]

2 ▲/▼で、記録したいフォルダを選択 → [OK]

記録フォルダ変更
101 1/2
ファイル数 3
作成日時
2010-1-1 12:01:58 AM
OK キャンセル

ご注意

- 内蔵メモリー使用時は表示されません。
- 以下のフォルダは記録フォルダとして選べません。
  - 「100」フォルダ
  - 「□□□MSDCF」と「□□□MNV01」のどちらか一つしかない番号のフォルダ
- 記録した画像は、別のフォルダには移動できません。

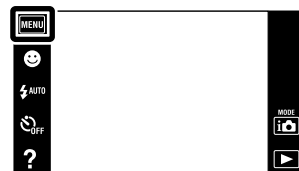
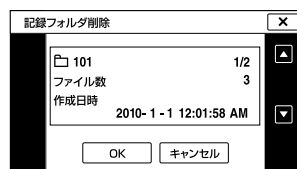
記録フォルダ削除

メモリーカードの中の、画像を記録するフォルダを削除します。

1 MENU → (設定) → (メモリーカードツール) → [記録フォルダ削除]

2 ▲/▼で、削除したいフォルダを選択 → [OK]

記録フォルダ削除
101 1/2
ファイル数 3
作成日時 2010- 1 - 1 12:01:58 AM
OK キャンセル

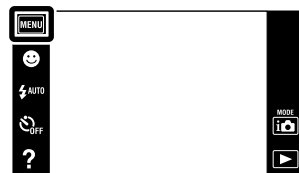
ご注意

- 内蔵メモリー使用時は表示されません。
- 記録フォルダとして設定しているフォルダを[記録フォルダ削除]で削除した場合、フォルダ番号が一番大きいフォルダが次の記録フォルダとして選ばれます。
- フォルダの中が空の場合のみ削除できます。画像や本機で再生できないファイルが入っている場合は、パソコンで削除してから行ってください。

コピー

内蔵メモリーに記録した画像を、メモリーカードに一括コピーします。

1 充分な空き容量のあるメモリーカードを本機に入れる

2 MENU → (設定) → (メモリーカードツール) → [コピー] → [OK]

ご注意

- 充分に充電したバッテリーをご使用ください。残量の少ないバッテリーを使用して画像ファイルをコピーすると、バッテリー切れのためデータを転送できなかったり、データを破損するおそれがあります。
- 画像ごとのコピーはできません。
- データをコピーしても、内蔵メモリー内のデータは削除されません。内蔵メモリーの内容を消去するには、コピー後にメモリーカードを本体から取りはずし、[内蔵メモリーツール]の[フォーマット]を行ってください。
- データをコピーするとメモリーカード内に新しいフォルダが作成されます。コピー先のフォルダを指定することはできません。

ファイル番号

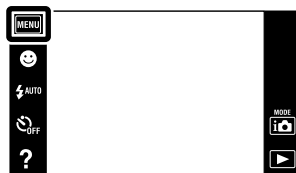
撮影画像のファイル番号の付けかたを設定します。

1 MENU → (設定) → (メモリーカードツール)、または (内蔵メモリーツール) → [ファイル番号] → 好みのモード

✓	連番	記録フォルダを変更したり、メモリーカードを取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。(取り換えたメモリーカード内に最新ファイルより大きな番号のファイルがある場合は、既存の最大番号+1のファイル番号を付ける。)
	リセット	フォルダごとにファイル番号を0001から付ける。(記録フォルダ内にファイルがある場合は、既存最大番号+1のファイル番号を付ける。)

エリア設定

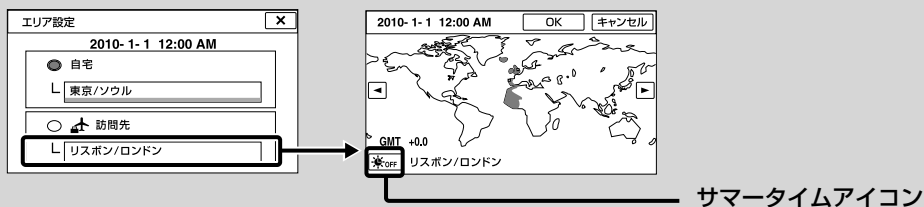
本機を使用する場所に適した時刻に合わせることができます。

1 MENU → (設定) → (時計設定) → [エリア設定] → 好みのモード

✓	**自宅**	お住まいの地域で使用する。
	訪問先	訪問先の時刻に合わせて使用する。 訪問先のエリアを設定する。

エリアを変更するには

よく訪れる訪問先がある場合、設定しておくと訪問時に簡単に時刻合わせができます。

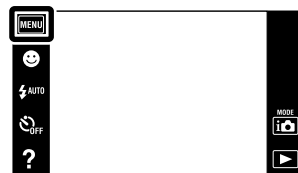
エリア設定
2010- 1- 1 12:00 AM
自宅
東京/ソウル
訪問先
リスボン/ロンドン

2010- 1- 1 12:00 AM OK キャンセル
GMT +0.0
リスボン/ロンドン

サマータイムアイコン

① 「訪問先」のエリア部分をタッチする。
② ◀/▶でエリアを選ぶ。
③ サマータイムアイコンをタッチして、サマータイムの入/切を選ぶ。
④ [OK]をタッチする。

日時設定

時刻を再設定します。

1 MENU → (設定) → (時計設定) →
[日時設定] → 好みのモード

表示形式	日付表示順を選ぶ。
サマータイム	サマータイムの入/切を選ぶ。 日本国内で使用するときは、[切]を選ぶ。
日時	日付、時刻を設定する。

ご注意

- 本機には画像に日付を挿入する機能はありません。CD-ROM（付属）に収録されている「PMB」を使用すると、日付を入れて保存/印刷できます。

サマータイムとは

夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時刻より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機でサマータイムを[入]にすると、時計が1時間進みます。

標準画質(SD)のテレビで見る

本機とテレビを接続すると、撮影した画像を標準画質(SD)で見られます。
テレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

1 本機とテレビの電源を切る

2 本機とテレビをマルチ端子専用ケーブル(付属)で接続する

3 テレビの電源を入れ、入力切り換えをする

4 ▶(再生)ボタンを押して、本機の電源を入れる

撮影した画像がテレビに表示される。本機の液晶画面の ▶I/I◀ をタッチして画像を選ぶ。

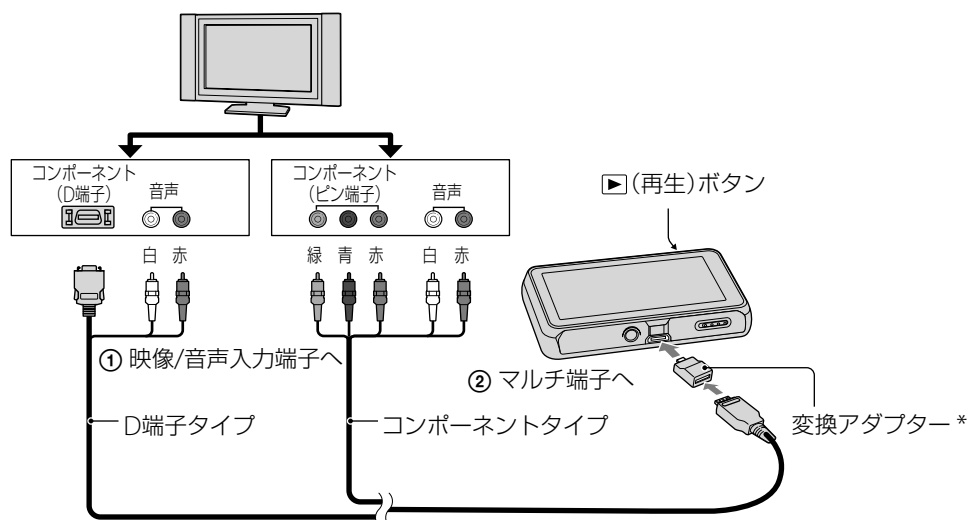
ご注意

- 1枚再生時、テレビ側にはアイコンが表示されません。
- テレビ出力中、[かんたんモード]では再生できません。
- 本機とテレビを接続した状態で動画を撮影すると、テレビ側には撮影中の画像は表示されません。

ハイビジョン画質(HD)のテレビで見る

本機とハイビジョンテレビをHD出力アダプターケーブル(別売)で接続すると、撮影した画像をハイビジョン画質(HD)で見られます。「Type3a」対応のHD出力アダプターケーブルをお使いください。
テレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

1 本機とテレビの電源を切る

2 本機とテレビをHD出力アダプターケーブル(別売)で接続する

* 「Type3a」対応のHD出力アダプターケーブル(別売)に同梱されています。

3 テレビの電源を入れ、入力切り換えをする

4 ▶(再生)ボタンを押して、本機の電源を入れる

撮影した画像がテレビに表示される。本機の液晶画面の ▶/◀ をタッチして画像を選ぶ。

ご注意

- あらかじめ、MENU → (設定) → (本体設定)で、[コンポーネント出力]を[HD(D3)]にしてください。
- 1枚再生時、テレビ側にはアイコンが表示されません。
- 画像サイズを[VGA]にして撮影した画像は高画質再生できません。
- [かんたんモード]では再生できません。
- 本機とテレビをHD出力アダプターケーブル(別売)を使って接続した状態で動画を撮影すると、テレビ側には撮影中の画像は表示されません。
- 海外で見るときは[ビデオ信号出力]の切り換えが必要な場合があります(108ページ)。
- お使いのハイビジョンテレビに合ったHD出力アダプターケーブルをお買い求めください。

次のページにつづく↓

ブラビア プレミアムフォトについて

本機は"ブラビア プレミアムフォト"に対応しています。"ブラビア プレミアムフォト"に対応したソニー製テレビにHD出力アダプターケーブル（別売）で接続すると、写真を今までになかった感動のFull HD高画質で快適にお楽しみいただけます。

- "ブラビア プレミアムフォト"とは、写真らしい高精細で微妙な質感や色合いの表現を可能にする機能です。
- 詳しくは、対応テレビの取扱説明書をご覧ください。

パソコンで使う

サイバーショットで撮影した画像をよりいっそうご活用いただくために、
CD-ROM（付属）には「PMB」などが収録されています。

パソコンの推奨環境（Windows）

付属ソフトウェア「PMB」、「Music Transfer」、「PMB Portable」を使ったり、USB接続で画像を取り込むには下記の推奨環境が必要です。

OS（工場出荷時にインストールされていること）	Microsoft Windows XP* SP3/Windows Vista SP2/Windows 7
その他	**CPU**：Intel Pentium Ⅲ 800 MHz以上 （HD動画再生・編集時は、Intel Core Duo 1.66 GHz以上/Intel Core 2 Duo 1.20 GHz以上） **メモリ**：512 MB以上（HD動画再生・編集時は1 GB以上） **インストール時に必要なハードディスク容量**：約500 MB **ディスプレイ**：1024×768ドット以上

* 64bit版は除きます。

パソコンの推奨環境（Macintosh）

付属ソフトウェア「Music Transfer」、「PMB Portable」を使ったり、USB接続で画像を取り込むには下記の推奨環境が必要です。

OS（工場出荷時にインストールされていること）	**USB接続**：Mac OS X（v10.3 ～ v10.6） **Music Transfer/PMB Portable**：Mac OS X*（v10.4 ～ v10.6）

* インテルプロセッサー搭載モデル

ご注意

- 上記のOSでもアップグレードされた場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- Hi-Speed USB（USB2.0）のため、対応のUSBインターフェースに接続すると、高速な転送（hi-speed転送）が行えます。
- パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

ソフトウェアを使う

「PMB（Picture Motion Browser）」、「Music Transfer」をインストールする（Windows）

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる

インストール画面が表示される。

- インストール画面が表示されないときは、[コンピュータ]（Windows XPでは[マイコンピュータ]）→ （SONYPMB）の順にダブルクリックする。
- 自動再生画面が表示される場合は、「Install.exe.の実行」を選択し、画面の指示に従ってインストールする。

2 [インストール]をクリックする

「言語の選択」画面が表示される。

3 [日本語]を選び、[次へ]をクリックする

使用許諾画面が表示される。

4 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合には○を◉に変え、[次へ]をクリックする

5 以降、画面の指示に従ってインストールを進める

- パソコンの再起動が必要な場合もある。再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動する。
- 使用環境によって、DirectXが引き続きインストールされることがある。
- インストールするには、途中でカメラとパソコンを接続する（133ページ）。

6 インストール後、パソコンからCD-ROMを取り出す

7 ソフトウェアを起動する

- 「PMB」を起動するときは、デスクトップ上の（PMB）をクリックする。
  詳しい使いかたはPMBサポートページ（http://www.sony.co.jp/pmb-sj/）、または（PMBヘルプ）をクリックして確認する。
- スタートメニューから起動するときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → （PMB）より実行する。
- お使いのパソコンにすでに「PMB」がインストールされている場合、本機付属のCD-ROMから「PMB」をインストールすると、すべてのアプリケーションが「PMBランチャー」から起動できるようになります。「PMBランチャー」の起動にはデスクトップ上の（PMBランチャー）をダブルクリックします。

ご注意

- コンピュータの管理者権限でログオンしてください。
- 「PMB」の初回起動時にお知らせ通信機能の確認画面が表示されます。[実行開始]を選択してください。
- 「PMB」をすでにインストールしているパソコンで、付属のCD-ROMのバージョンより小さい番号をご使用の場合は、付属のCD-ROMからもインストールしてください。
- 付属のCD-ROMのバージョンより大きい番号をご使用の場合はインストール不要です。本機とパソコンをUSB接続すると、使用できる機能が有効になります。
- お使いのパソコンに、すでにバージョン5.0未満の「PMB」がインストールされている場合は、本機付属のCD-ROMから「PMB」をインストールすると、一部ご使用いただけなくなる機能があります。また、あわせてインストールされる「PMBランチャー」から「PMB」や他の様々なソフトウェアを起動できるようになります。「PMBランチャー」の起動には、デスクトップ上の（PMBランチャー）をダブルクリックします。

「Music Transfer」をインストールする（Macintosh）

1 Macintoshに電源が入った状態で、CD-ROM（付属）をディスクドライブに入れる

2 （SONYPMB）をダブルクリックする

3 [Mac]フォルダの中の[MusicTransfer.pkg]をダブルクリックする

インストールが始まる。

ご注意

- 「PMB」は、Macintoshには対応していません。
- インストールする前に使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。
- インストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。

「PMB」のご紹介

- 本機で撮影した画像をパソコンに取り込み、表示できます。本機とパソコンをUSB接続し、[取り込み開始]をクリックします。
- パソコンにある画像を、メモリーカードに書き出し、表示できます。本機とパソコンをUSB接続し、[活用]メニューの[書き出し] → [かんたん書き出し(PCシンク)]をクリックし、[書き出し開始]をクリックします。
- 画像に日付を挿入して保存/印刷できます。
- パソコンにある画像を、撮影日ごとにカレンダー上で表示できます。
- 静止画の補正（赤目補正など）、撮影日時の変更ができます。
- 画像をネットワークサービスにアップロードできます。（インターネット接続環境が必要です）
- その他詳しくは、（PMBヘルプ）をご覧ください。

「Music Transfer」のご紹介

出荷時から本機に用意されているBGMファイルをお好みの曲と入れ換えたり、BGMファイルの削除や追加ができます。
また、出荷時に保存されていた曲を再び本機に戻すこともできます。

- 「Music Transfer」で取り込むことができる曲の種類は、下記のとおりです。
  –パソコンのハードディスクに保存されたMP3ファイル
  –音楽CDの曲
  –工場出荷時に本機に保存されている曲
- 「Music Transfer」を起動する前に、MENU → （設定） → （本体設定） → [BGMダウンロード]を行い、本機とパソコンを接続してください。

その他詳しくは、「Music Transfer」のヘルプをご覧ください。

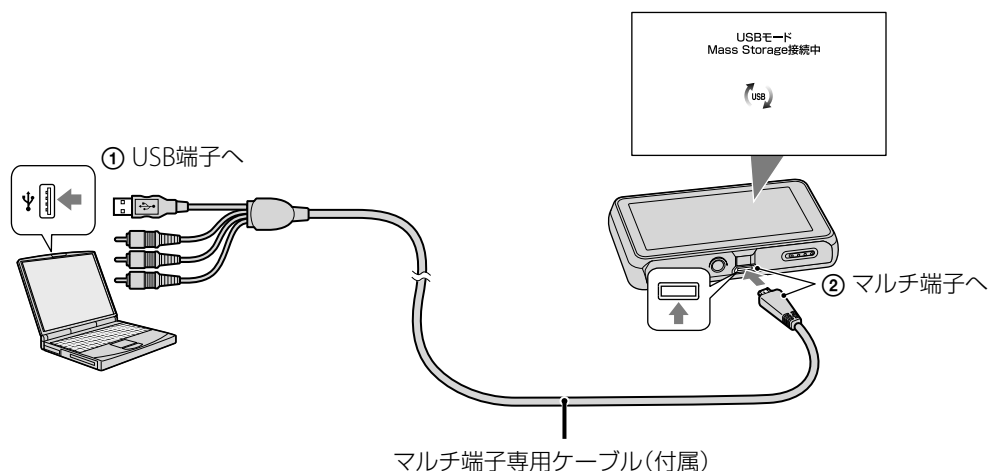
本機とパソコンを接続する

1 充分に充電したバッテリーを本機に入れる、または ACアダプター AC-LS5K/AC-LS5A（別売）とマルチ端子専用USB・AV・DC INケーブル（別売）で本機とコンセントを接続する

- 「Type3a」対応のUSB・AV・DC INケーブル（別売）をお使いください。

2 パソコンの電源を入れ、本機の▶（再生）ボタンを押す

3 本機とパソコンを接続する

- 初回接続時のみ、パソコンが本機を認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。

画像を取り込んで見る（Windows）

「PMB」を使うと、簡単に画像を取り込めます。
「PMB」の機能について詳しくは、「PMBヘルプ」をご覧ください。

「PMB」を使わずに画像をパソコンに取り込むには

本機とパソコンを接続して自動再生ウィザードが起動したら、[フォルダを開いてファイルを表示] → [OK] → [DCIM]をクリックして、取り込みたい画像をパソコン内にコピーしてください。

画像を取り込んで見る（Macintosh）

1 本機とパソコンを接続したら、デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコン → 取り込みたい画像の入ったフォルダの順にダブルクリックする

2 画像ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ＆ドロップする

ハードディスクに画像ファイルがコピーされる。

3 ハードディスクアイコン → 画像ファイルの順にダブルクリックする

画像が表示される。

パソコンとの接続を切断する

以下の操作を行いたいときは、1 ～ 3の手順をあらかじめ行ってください。

- USBケーブルを抜く
- メモリーカードを取り出す
- 内蔵メモリーからのコピーを終了して、メモリーカードを本機に入れる
- 本機の電源を切る

1 タスクトレイの切断アイコンをダブルクリックする

2 (USB大容量記憶装置デバイス) → [停止]をクリックする

3 取りはずすドライブを確認して、[OK]をクリックする

Windows Vista

Windows XP

切断アイコン

ご注意

- Macintosh使用時は、あらかじめメモリーカードまたはドライブのアイコンをごみ箱にドラッグ＆ドロップしてください。パソコンとの接続が切断されます。

画像をネットワークサービスにアップロードする

本機にはアプリケーション「PMB Portable」が内蔵されています。
「PMB Portable」をご利用になると、次のことができます。

- 画像をブログなどのネットワークサービスへ簡単にアップロードできます。
- 外出先などでも、インターネット接続されたパソコンからアップロードできます。
- 頻繁に使用するネットワークサービス（ブログなど）を登録できます。

詳しい使いかたについては、「PMB Portable」のヘルプをご覧ください。

PMB Portableを起動する（Windows）

初めてご利用になる場合には、言語設定が必要です。下記のとおり設定を行ってください。一度、言語設定を行うと、次回から手順3 ～ 5は不要になります。

1 本機とパソコンをUSB接続する

本機とパソコンの接続が終わると、自動再生ウィザードが起動する。
必要のないドライブは[×]で終了してください。

- 自動再生ウィザード画面が表示されないときは、[コンピュータ]（Windows XPでは[マイコンピュータ]）→ [PMBPORTABLE]をクリックして、「PMBP_Win.exe」をダブルクリックする。

2 「PMB Portable」をクリックする（Windows XPでは、“PMB Portable” → [OK]）

- 自動再生ウィザード内に[PMB Portable]が表示されない場合は、[コンピュータ] → [PMBPORTABLE]をクリックして、「PMBP_Win.exe」をダブルクリックする。

言語選択画面が表示される。

3 [日本語]を選び、[OK]をクリックする

地域選択画面が表示される。

4 [エリア]と[国/地域]を選び、[OK]をクリックする

使用許諾画面が表示される。

5 内容をよく読み、[同意する]をクリックする

「PMB Portable」が起動する。

PMB Portableを起動する(Macintosh)

1 本機とパソコンをUSB接続する

本機とパソコンの接続が終わると、デスクトップ上に[PMBPORTABLE]が表示される。必要のないドライブは[×]で終了してください。

2 [PMBPORTABLE]フォルダの中の[PMBP_Mac]をクリックする

地域選択画面が表示される。

3 [エリア]と[国/地域]を選び、[OK]をクリックする

使用許諾画面が表示される。

4 内容をよく読み、[同意する]をクリックする

「PMB Portable」が起動する。

ご注意

- 本体設定の[LUN設定]を[マルチ]に設定してください。
- 「PMB Portable」使用時は、必ずネットワーク接続してください。
- 当製品を含め、インターネット経由で画像をアップロードするとき、サービスプロバイダーによっては利用しているパソコンにキャッシュが残る場合があります。
- 「PMB Portable」に不具合が起きたり、誤って削除してしまった場合、PMB PortableインストーラーをWebからダウンロードして修復することができます。

「PMB Portable」についてのご注意

「PMB Portable」はいくつかのウェブサイトのURLを、ソニーが管理するサーバー(以下、ソニーサーバー)からダウンロードすることができます。
「PMB Portable」を使用してこれらを含むウェブサイトが提供する画像アップロードサービス等(以下、サービス)をご利用いただくにあたり、以下をご承諾願います。

- ウェブサイトによっては、サービス利用に際してお客様による登録手続や利用料等の費用負担が必要となる場合があります。ウェブサイトが定める規約に従って、サービスをご利用ください。
- ウェブサイトの運営者の都合等により、サービスの中止や変更等があり得ますが、これらの場合を含め、サービスのご利用に関連してお客様と第三者との間に生じたトラブルや、お客様に発生した損害に関し、ソニーは一切責任を負いません。
- ウェブサイトへはソニーサーバーからリダイレクトされます。サーバーメンテナンスなどの事情により、ウェブサイトへアクセスできない場合があります。
- ソニーサーバーの運用を終了する場合は、ソニーのウェブサイトなどで事前にご案内いたします。
- ソニーサーバーからリダイレクトされる先のURL等を記録し、今後のソニー製品及びサービスの向上に役立たせていただく場合があります。ただし、個人情報は記録いたしません。

静止画をプリントする

静止画をプリントするには、下記の方法があります。

- ダイレクトプリント（メモリーカード対応プリンター使用）
  詳しくは、プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンを使ってプリント
  CD-ROM収録のソフトウェア「PMB」を使って画像をパソコンに取り込んでから、プリントします。日付を入れてプリントできます。
  詳しくは、「PMBヘルプ」をご覧ください。
- お店でプリント

ご注意

- [16:9]で撮影した画像は、プリント時に両端が切れる場合があります。
- お使いのプリンターによっては、パノラマ画像は印刷できません。

お店でプリントする

画像を撮影したメモリーカードをプリントサービス店に持参します。DPOF規格対応のお店でプリントするときは、再生メニューでDPOF（プリント予約）マークを付けて、プリントしたい画像を本機であらかじめ予約できます。

ご注意

- 内蔵メモリー内の画像は、プリントサービス店で直接カメラからプリントすることはできません。メモリーカードにコピーして（123ページ）、プリントサービス店にお持ちください。
- 対応しているメモリーカードの種類はお店にお問い合わせください。
- メモリーカード用のアダプター（別売）が必要な場合があります。お店にお問い合わせください。
- プリントサービス店をご利用前に、必ずデータのバックアップを取ってください。
- プリント枚数の設定はできません。
- 日付を写真に挿入したいときは、お店にご相談ください。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ 139 ～ 146ページの項目をチェックし、本機を点検する。

画面に「C/E：□□：□□」のような表示が出たときは、147ページをご覧ください。

❷ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

❸ 設定リセットをする（106ページ）。

❹ サイバーショットオフィシャルWEBサイトなどで確認する。

http://www.sony.co.jp/cyber-shot

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

サイバーショットの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など）
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

"メモリースティック"対応表
使用可能な"メモリースティック"を確認できます。
また、その他の"メモリースティック"に関する情報も確認できます。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

付属ソフトウェアのサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

❺ ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる。

- 内蔵メモリーやBGM機能を搭載した機種を修理に出した場合、それらの内容を確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 指定宅配便での修理品のお引取り、修理後の製品のお届けまでを一括して行います。WEBサイトをご覧ください。
  http://www.sony.co.jp/di-repair/

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの向きを確認し、取りはずしつまみがロックするまで挿入してください。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付けてください。
- バッテリーの端子部が汚れています。柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてください。
- 推奨バッテリーをお使いください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前に画面にメッセージが表示されます。
- [パワーセーブ]設定が[標準]または[スタミナ]のときに、操作しない状態が一定時間続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高い、または低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。ご使用状況によっては、表示にズレが生じることがあります。
- バッテリーの寿命です(155ページ)。新しいバッテリーと交換してください。

バッテリーを本体に入れた状態で充電できない。

- ACアダプター（別売)を使っての充電はできません。バッテリーチャージャーを使って充電してください。

バッテリー充電中、CHARGEランプが点滅する。

- NP-BN1タイプのバッテリーかご確認ください。
- 長時間使用していないバッテリーを充電すると、CHARGEランプが点滅することがまれにあります。
- 点滅パターンは、速い点滅(約0.15秒)と遅い点滅(約1.5秒)の2種類があります。速い点滅のときは、バッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを確実に取り付けてください。再び速い点滅をしたときは、バッテリーの異常が考えられます。
  遅い点滅のときは、充電に適した温度外で充電しているため、充電を一時停止した待機状態になっています。充電に適した温度範囲に戻れば充電を再開し、CHARGEランプは点灯になります。
  バッテリーの充電は周囲温度が10℃～ 30℃の環境で行うことをおすすめします。
- 詳しくは、156ページをご覧ください。

静止画/動画を撮る

撮影できない。

- メモリーカードを挿入しているのに内蔵メモリーに記録されてしまうときは、メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- 内蔵メモリーまたはメモリーカードの空き容量を確認してください。いっぱいのときは、以下のいずれかを行ってください。
  – 不要な画像を削除してください（79ページ）。
  – メモリーカードを交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 動画撮影時は以下のメモリーカードをおすすめします。
  – "メモリースティック PRO デュオ"（Mark2）、"メモリースティック PRO-HG デュオ"
  – SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード（Class 4以上）
- [デモモード]を[切]にしてください（105ページ）。

スマイルシャッター撮影ができない。

- 笑顔が検出されない場合は撮影されません。
- [デモモード]を[切]にしてください（105ページ）。

手ブレ補正が効かない。

- 暗所では、手ブレ補正が効きにくくなります。
- シャッターを半押ししてから撮影してください。

撮影に時間がかかる。

- 暗い場所での撮影時など、シャッタースピードが一定速度よりも遅くなると、自動的に画像ノイズを低減します。この機能をNR（ノイズリダクション）スローシャッターといい、撮影に時間がかかります。

ピント（フォーカス）が合わない。

- 被写体が近すぎるためです。以下の最短撮影距離より離して撮影してください。
  おまかせオート撮影時、かんたんモード中：レンズ先端からW側約1 cm、T側約50 cm。
  それ以外の撮影モード時：レンズ先端からW側約8 cm、T側約50 cm。または拡大鏡モードにし、W側約1 cm ～ 20 cmの距離で撮影してください。
- 静止画撮影時、シーンセレクションの（風景）、（夜景）、（打ち上げ花火）が選ばれていると、ピントが合わない場合があります。

ズームできない。

- スイングパノラマ撮影、水中スイングパノラマ撮影（DSC-T110のみ）のときは、ズームできません。
- 画像サイズによってはスマートズームができません（97ページ）。
- 動画撮影時、スマイルシャッター中は、デジタルズームは使えません。

顔検出機能が選べない。

- [フォーカス]を[マルチAF]、[測光モード]を[マルチ]の両方の設定がされているときのみ、[顔検出]を選べます。
- 拡大鏡モード時、[顔検出]は選べません。

フラッシュ撮影ができない。

- 以下の場合は、フラッシュ撮影できません。
  - 連写時
  - シーンセレクションの(夜景)、(高感度)、(打ち上げ花火)が選ばれているとき
  - スイングパノラマ撮影時
  - 水中スイングパノラマ撮影時(DSC-T110のみ)
  - 動画撮影時
- 拡大鏡モード時、またはシーンセレクションの(風景)、(料理)、(ペット)、(ビーチ)、(スノー)、(水中)(DSC-T110のみ)、(高速シャッター)が選ばれているときは、[強制発光]にしてください(44ページ)。

フラッシュ撮影した画像に、ぼんやりとした白く丸い点が写っている。

- 空気中の粒子(ほこり、花粉など)がフラッシュの強い光に反射して写りこんだためです。故障ではありません。

近接撮影(マクロ撮影/拡大鏡撮影)ができない。

- シーンセレクションの(風景)、(夜景)、(打ち上げ花火)が選ばれているときは、近接撮影できません。
- 拡大鏡モードが選ばれている場合の撮影範囲は、約1 cm ～ 20 cmです。
- 以下の場合は、[マクロ]は[オート]に固定されます。
  - スイングパノラマ撮影時
  - 水中スイングパノラマ撮影時(DSC-T110のみ)
  - 動画撮影時
  - スマイルシャッター中
  - かんたんモード中
  - [セルフタイマー]が[自分撮り1人]または[自分撮り2人]のとき

マクロ撮影が解除できない

- マクロ解除の機能はありません。[オート]の場合は、そのまま遠景の撮影が可能です。

撮影日時が液晶画面に表示されない。

- 撮影時には、日付は表示されません。再生時のみ表示されます。

撮影日時を画像に挿入できない。

- 本機には画像に日付を挿入できる機能はありません。「PMB」を使用すると、日付を入れて保存/印刷することができます(131ページ)。

シャッターを半押しするとF値、シャッタースピードが点滅する。

- 露出が合っていません。[明るさ(EV補正)]を設定してください(55ページ)。

画像の色が正しくない。

- [色合い(ホワイトバランス)]を調整してください(58ページ)。

被写体の明るい部分から、白や紫などの線が出たり、画面全体が赤みがかったような画像になる。

- スミアという現象です。故障ではありません。通常の静止画には記録されませんが、スイングパノラマや動画撮影では線やムラとなって記録されます。（明るい部分とは太陽や電灯など周囲との明るさの差が大きい箇所のことです。）

暗い場所で画面を見ると画像にノイズが目立つ。

- 暗い場所でも確認できるように、画面を一時的に明るくする機能が働いています。撮影される画像には影響ありません。

被写体の目が赤く写る。

- ［赤目軽減］を［オート］または［入］にしてください（100ページ）。
- 被写体に近づいてフラッシュ撮影距離内で撮影してください。
- 室内を明るくして撮影してください。
- 再生メニューの［加工］→［赤目補正］を行う、または「PMB」で修正してください。

画面に点が現れて消えない。

- 故障ではありません。これらの点は記録されません。

連写できない。

- スマイルシャッター中は連写できません。
- 内蔵メモリーまたはメモリーカードの容量がいっぱいです。不要な画像を削除してください（79ページ）。
- バッテリーの残量が足りません。充電されたバッテリーを取り付けてください。

同じ画像が数枚撮影される。

- ［連写設定］を［切］にしてください（53ページ）。
- ［おまかせシーン認識］が［アドバンス］になっています（64ページ）。

画像を見る

再生できない。

- メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください（134ページ）。

撮影日時が表示されない。

- ［表示設定］が［切］になっています。

画面の左右が黒く表示される。

- ［縦横判別］が［入］になっています（98ページ）。

ボタンやアイコンが消えてしまった。

- 撮影時、画面右上をタッチしていると、ボタンやアイコンが一時的に消えます。指が離れると再び表示されます。
- 撮影メニューまたは、再生メニューの[表示設定]が[切]になっています。画面の左側をタッチして右になぞってください。

スライドショー時に音楽(BGM)が流れない。

- 「Music Transfer」を使って本機に音楽を入れてください(131、132ページ)。
- [音量設定]と[スライドショー]の設定を確認してください(77、89ページ)。
- [連続再生]で再生している。[音楽付スライドショー]を選んで再生してください。

テレビに画像が出ない。

- 本機と同じカラーテレビ方式のテレビが必要です。
- 接続が正しいか確認してください(127、128ページ)。
- USBケーブルがUSB端子に接続されている場合は、はずしてください(134ページ)。

画像を削除する

削除できない。

- 画像のプロテクトを解除してください(86ページ)。

パソコン

パソコンとの接続方法や最新サポート情報は下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

"メモリースティック"スロット付きパソコンで"メモリースティック PRO デュオ"が認識されない。

- パソコンおよびリーダーライターが"メモリースティック PRO デュオ"に対応しているかご確認ください。ソニーバイオをお使いの場合、バイオのサポートページをご覧いただきますと、対応の有無が確認できます。ソニー製以外のパソコンおよびリーダーライターをお使いの場合は、各メーカーにお問い合わせください。
- "メモリースティック PRO デュオ"非対応の場合は、本機をパソコンにつないでください(133ページ)。パソコンが"メモリースティック PRO デュオ"を認識します。

本機がパソコンに認識されない。

- バッテリー残量が少ないときは、充電されたバッテリーを取り付けてください。またはACアダプター(別売)を使用してください。
- [USB接続]を[Mass Storage]にしてください(110ページ)。
- 接続には、USBケーブルを使ってください。
- 一度パソコンと本機からUSBケーブルを抜いて再びしっかりと差し込んでください。
- パソコンのUSB端子に、本機/キーボード/マウス以外の機器が接続されているときは、取りはずしてください。
- USBハブ経由などでなく、本機とパソコンを直接接続してください。

画像を取り込めない。

- 本機とパソコンを正しくUSB接続してください（133ページ）。
- パソコンでフォーマットしたメモリーカードで撮影した場合、画像をパソコンへ取り込めないことがあります。本機でフォーマットしたメモリーカードで撮影してください（119ページ）。

USB接続をしたときに「PMB」が自動起動しない。

- パソコンの電源を入れた状態でUSB接続してください。

USB接続をしたときに「PMB Portable」が起動しない。

- [LUN設定]を[マルチ]にしてください。
- [USB接続]を[Mass Storage]にしてください。
- パソコンをネットワーク接続してください。

画像を再生できない。

- 「PMB」をお使いの場合は、「PMBヘルプ」をご覧ください（131ページ）。
- パソコンメーカーまたはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

動画を再生すると画像や音が途切れる。

- 内蔵メモリーまたはメモリーカードから直接再生すると、画像や音が途切れます。「PMB」で画像を取り込んでファイルを再生してください（131ページ）。

パソコンから書き出した画像ファイルが本機で見られない。

- パソコン内の画像を本機で再生するには、「PMB」をご使用ください。
- 管理ファイルに登録して、[日付ビュー]で再生してください（85ページ）。
- 本機はイベントビューに対応していません。

メモリーカード

本機に入らない。

- 正しい向きで入れてください。

誤ってフォーマットしてしまった。

- メモリーカード内のデータはすべて消去され、元に戻せません。

メモリーカードを挿入しているのに内蔵メモリーに記録されてしまう。

- メモリーカードがきちんと奥まで挿入されているか確認してください。

内蔵メモリー

内蔵メモリー内のデータが再生/記録できない。

- 本機にメモリーカードが入っています。取りはずしてください。

内蔵メモリー内のデータをメモリーカードにコピーできない。

- メモリーカードの空き容量がありません。充分な空き容量のあるメモリーカードにコピーしてください。

メモリーカードやパソコンの画像を内蔵メモリーにコピーできない。

- メモリーカードやパソコンの画像は内蔵メモリーにコピーできません。

プリントする

画像をプリントできない。

- プリンターの取扱説明書をご覧ください。

両端が切れてプリントされる。

- プリンターによっては、画像の上下左右が切れることがあります。特に画像が[16:9]のときは、左右が大きく切れることがあります。
- お手持ちのプリンターでプリントする場合は、あらかじめトリミングやふちなし印刷機能を解除しておいてください。機能の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- お店でプリントする場合は、画像の両端が切れないようにプリントできるかどうか、あらかじめお店にお問い合わせください。

日付を入れて印刷できない。

- 「PMB」を使って印刷すると日付挿入ができます（131ページ）。
- 本機には画像に日付を挿入できる機能はありませんが、画像には日付情報が記録されています。お使いのプリンターやソフトウェアがExif情報を認識できれば日付を入れて印刷できます。対応の有無は、各メーカーにお問い合わせください。
- お店でプリントするときは、日付挿入を希望すれば、日付を入れて印刷できます。

タッチパネル

タッチパネルのボタンが操作できない/正しく操作できない。

- 画面を調節（[キャリブレーション]）してください（118ページ）。
- [ハウジング]が[入]になっています（DSC-T110のみ）（109ページ）。

ペイントペンの先をあてた位置がずれて表示される。

- 画面を調節（[キャリブレーション]）してください（118ページ）。

その他

レンズがくもる。

- 結露しています。電源を切って約1時間そのままにしてから使用してください。

長時間使用すると、本機が熱くなる。

- 故障ではありません。

電源を入れると、時刻設定画面が表示される。

- 日付/時刻を設定し直してください（126ページ）。
- 充電式バックアップ電池が放電しています。充電したバッテリーを入れ、電源を切ったまま24時間以上放置してください。

日付/時刻がずれている。

- エリア設定で現在地と異なった場所が設定されています。MENU → （設定） →（時計設定） → [エリア設定]で設定し直してください。

自己診断表示と警告表示

自己診断表示

画面にアルファベットで始まる表示が出たら、本機の自己診断機能が働いています。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。
下記の対処を2、3度繰り返しても正常な状態に戻らないときは、修理が必要な場合があるのでソニーの相談窓口にご相談ください。

C:32:□□

- ハードウェアの異常です。電源を入れ直してください。

C:13:□□

- データが読めない/書けない状態です。電源を入れ直すかメモリーカードを数回抜き差ししてください。
- 内蔵メモリーがフォーマットエラーのままです。または、フォーマットしていないメモリーカードが入っています。フォーマットしてください（119ページ）。
- 本機では使えないメモリーカードが入っています。またはデータが壊れています。メモリーカードを交換してください。

E:61:□□

E:62:□□

E:91:□□

- 何らかの異常が起きています。設定リセット（106ページ）してから、電源を入れてください。

E:94:□□

- データの書き込み、消去動作不良です。修理が必要です。ソニーの相談窓口にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

警告表示

画面には、次のような表示が出ることがあります。

- バッテリーの残量が少なくなっています。すぐにバッテリーを充電してください。ご使用状況やバッテリーの種類によっては、バッテリー残量が5分から10分でも点滅することがあります。

このバッテリーは使えません

- NP-BN1（付属）以外のバッテリーを使っています。

システムエラー

- 電源を入れ直してください。

しばらく使用できません
カメラの温度が下がるまでお待ちください

- 本機の温度が上がっています。自動的に電源が切れる場合と、動画撮影ができなくなる場合があります。本機の温度が下がるまで涼しいところに置いてください。

内蔵メモリーエラー

- 電源を入れ直してください。

メモリーカードを入れ直してください

- 本機では使えないメモリーカードが入っています（3ページ）。
- メモリーカード端子が汚れています。
- メモリーカードが壊れています。

非対応のメモリーカードです

- 本機では使えないメモリーカードが入っています（3ページ）。

このメモリーカードは記録/再生できない可能性があります

- 本機では使えないメモリーカードが入っています（3ページ）。

内蔵メモリーフォーマットエラー
メモリーカードフォーマットエラー

- フォーマットし直してください（119ページ）。

バッファオーバー

- 記録と削除を繰り返したり、他機でフォーマットしたメモリーカードをお使いの場合、記録に十分な書き込み速度が得られないことがあります。データをパソコンなどにバックアップした後、フォーマットし直してください（119ページ）。
- お使いのメモリーカードの書き込み性能が、動画の記録速度に十分でない場合に表示されることがあります。"メモリースティック デュオ"の場合は、"メモリースティック PRO-HG デュオ"または"メモリースティック PRO デュオ"（Mark2）、SDカードの場合は、Class 4以上をお使いください。

メモリーカードがロックされています

- 誤消去防止スイッチのあるメモリーカードを使用し、スイッチが「LOCK」になっています。解除してください。

読み出し専用のメモリーカードです

- このメモリーカードへの画像記録や消去はできません。

メモリーカードへの書き込みが正常に終了しませんでした
データを修復します

- メモリーカードを入れ直し、画面の指示に従ってください。

画像がありません

- 内蔵メモリー内に再生可能な画像が記録されていません。
- メモリーカード内に再生可能な画像が記録されていません。

対象画像がありません

- スライドショー時に、スライドショーできるファイルが存在しないフォルダまたは日付を選択しています。

本機で認識できないファイルがあります

- 本機で再生できないファイルがあるフォルダを削除しようとしています。パソコンで削除してから、フォルダを削除してください。

フォルダエラー

- 上3桁の番号が同じフォルダがメモリーカード内にあります（例：123MSDCFと123ABCDE）。別のフォルダを選ぶか、フォルダを作成してください（120、121ページ）。

これ以上フォルダ作成できません

- 上3桁の番号が「999」のフォルダがメモリーカード内にあります。本機でこれ以上のフォルダを作成できません。

フォルダ内を空にしてください

- ファイルがあるフォルダを削除しようとしています。ファイルをすべて削除してから、フォルダを削除してください。

フォルダがプロテクトされています

- パソコンなどで読み取り専用にしたフォルダを削除しようとしています。

表示できないファイルです

- 画像再生時に異常が発生しました。
  パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証しません。

読み出し専用フォルダです

- 本機で記録フォルダに設定できないフォルダを選択しました。他のフォルダを選択してください（121ページ）。

ファイルがプロテクトされています

- プロテクトを解除してください（86ページ）。

画像サイズオーバーです

- 本機で再生できないサイズの画像を再生しようとしています。

対象を検出できませんでした

- 画像によっては加工できない場合があります。

（手ブレ警告表示）

- 光量不足のため、手ブレが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使用してください。または、三脚などで本機をしっかりと固定してください。

1280×720（ファイン）に、このメモリーカードは対応していません
1280×720（スタンダード）に、このメモリーカードは対応していません

- 動画撮影時は、"メモリースティック PRO デュオ"（Mark2）、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、Class 4以上のSDメモリーカードの使用をおすすめします。

制限枚数を超えています

- TransferJetで選べるファイルは10枚までです。
- ［画像選択］で選べるファイルは100枚までです。
- DPOF、プロテクト、［この日の画像全て］／［フォルダ内全て］で選べるファイルは999枚までです。
- **DPOF**（プリント予約）マークが付けられるファイルは999枚までです。

BGMエラー

- 選択したBGMデータを削除するか、正常なデータと入れ換えてください。
- BGMデータ消去をしてから、正常なデータをダウンロードしてください。

BGMフォーマットエラー

- BGMデータ消去をし直してください。

非対応ファイルでは
この操作を実行できません

- パソコンで画像を加工したファイルや、他機で撮影した画像は、加工などの編集機能は使えません。

管理ファイル準備中　しばらくおまちください

- パソコンで画像を削除した場合などに日付情報などを修復します。
- メモリーカードのフォーマット後に必要な管理ファイルを作成します。

FULL

- 本機で日付を管理できる枚数を超えています。新しく管理ファイルに画像を登録するには、［日付ビュー］で画像を削除してください。

Error

- 本機の管理ファイルへの記録や、［日付ビュー］での再生ができません。「PMB」で、すべての画像をパソコンに取り込み、メモリーカード、または内蔵メモリーを修復してください。

管理ファイルエラー　修復できません

- 「PMB」で、すべての画像をパソコンに取り込み、メモリーカード または内蔵メモリーをフォーマットしてください（119ページ）。
  再び本機で画像を見るには、取り込んだ画像を「PMB」で本機に書き出してください。

カメラの温度が高いため
しばらく録画できません

- カメラの温度が高くなっている。下がるまで撮影できません。

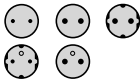
カメラの温度が上がったため
録画を停止しました

- 動画記録中に温度が上昇したため、録画を停止します。温度が下がるまでお待ちください。

[!]

- 長時間動画を撮影し、カメラの温度が上がっています。動画撮影を終了してください。

接続に失敗しました

- TransferJet受信部を確認して正しく送信してください（15ページ）。

送信できないファイルがありました
受信できないファイルがありました

- 画像送信中に通信が切断されたか、または機器のメモリー容量がいっぱいになると送信を中断します。空き容量を確認して再度TransferJet送信してください。

海外で使うときは

バッテリーチャージャー（付属）やACアダプター AC-LS5A（別売）は全世界（AC100V ～ 240V・50/60Hz）で使えます。ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。

コンセント形状例	地域	変換プラグアダプター
	主に北米	不要
	主にヨーロッパ	必要

ご注意

- 電子変圧器（トラベルコンバーター）は故障の原因となるので使わないでください。

メモリーカードについて

本機で使用できるメモリーカードは“メモリースティック PRO デュオ”、“メモリースティック PRO-HG デュオ”、“メモリースティック デュオ”、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードです。マルチメディアカードは使用できません。

ご注意

- パソコンでフォーマットしたメモリーカードは、本機での動作を保証しません。
- お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中にメモリーカードを取り出したり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどを貼らないでください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- メモリーカードのスロットには、対応するサイズのメモリーカード以外は入れないでください。故障の原因となります。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

メモリーカードアダプター（別売）使用上のご注意

- メモリーカードをメモリーカードアダプターに入れるときは正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。

“メモリースティック”について

本機で使用できるものは下記のとおりです。ただし、すべての“メモリースティック”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録・再生
メモリースティック デュオ（マジックゲート非対応）	○*1
メモリースティック デュオ（マジックゲート対応）	○*2
マジックゲートメモリースティック デュオ	○*1*2
メモリースティック PRO デュオ	○*2*3
メモリースティック PRO-HG デュオ	○*2*3*4

*1 パラレルインターフェースを利用した高速データ転送に対応していません。

*2 マジックゲート搭載の“メモリースティック デュオ”です。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能が必要なデータの記録/再生はできません。

*3 動画の[1280×720]の記録ができます。

*4 本機は8ビットパラレルデータ転送には対応せず、“メモリースティック PRO デュオ”と同様の4ビットパラレルデータ転送を行います。

“メモリースティック マイクロ”（別売）使用上のご注意

- 本製品は“メモリースティック マイクロ”（“M2”）に対応しています。“M2”は“メモリースティック マイクロ”の略称です。
- “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”をデュオサイズのM2アダプターに入れてからお使いください。デュオサイズのM2アダプターに装着されていない状態で挿入されますと、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- “メモリースティック マイクロ”は小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。

使用可能な“メモリースティック”についての最新情報は、ホームページ上の「“メモリースティック”対応表」をご確認ください。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

バッテリーについて

バッテリーの充電について

- 周囲の温度が10℃ ～ 30℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が速くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2 ～ 3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。
- バッテリーの端子部が汚れると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度満充電にして本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、スライドショー（76ページ）を再生して、電源が切れるまでそのままにしてください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋に入れて金属から離してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをお買い上げください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。

対応バッテリーについて

- NP-BN1（付属）は、Nタイプに対応したサイバーショットにのみ使用できます。

バッテリーチャージャーについて

- バッテリーチャージャー（付属）で、NP-BN1タイプ以外のバッテリーを充電しないでください。指定以外のバッテリーを充電すると、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂、感電の原因となり、やけどやけがをするおそれがあります。
- 付属のバッテリーチャージャーのCHARGEランプには以下の2つの点滅パターンがあります。
  速い点滅・・・・・・約0.15秒の点灯と消灯を繰り返す
  遅い点滅・・・・・・約1.5秒の点灯と消灯を繰り返す
- 充電したバッテリーはバッテリーチャージャーから取り出してください。そのまま取り付けていると、バッテリーの寿命を損なうことがあります。
- CHARGEランプが点滅した場合は充電中のバッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを確実に取り付けてください。再びCHARGEランプが点滅した場合は、バッテリーの異常、または指定以外のバッテリーが挿入された場合が考えられます。指定のバッテリーかどうか確認してください。
  指定のバッテリーを挿入している場合は、一度バッテリーを抜き、新品のバッテリーなど、別のバッテリーを挿入してバッテリーチャージャーが正常に動作するか確認してください。バッテリーチャージャーが正常に動作する場合は、バッテリーの異常が考えられます。
- CHARGEランプが遅い点滅をしている場合は充電を一時停止した待機状態になっています。充電に適した温度範囲外にある場合は自動的に充電を一時止め、待機状態になります。充電に適切な温度範囲に戻れば充電を再開し、CHARGEランプは点灯になります。バッテリーの充電は周囲温度が10℃ ～ 30℃の環境で行うことをおすすめします。

TransferJet規格について

TransferJet通信は以下の規格を使用しています。

TransferJet規格：

PCL Spec. Rev1.0準拠

Protocol Class Name（通信種類）：

SCSI Block Device Target
OBEX Push Server
OBEX Push Client

- 別売のTransferJet通信機器と接続する際、上記の"SCSI"という通信種類を使用します。同様に、カメラ同士で接続する場合には、"OBEX"という通信種類を使用します。

静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間

記録枚数/時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

静止画

（単位：枚）

容量 / サイズ	内蔵メモリー	本機でフォーマットしたメモリーカード				
	約23MB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
16M	3	265	530	1050	2100	4250
10M	5	395	790	1600	3200	6400
5M	7	570	1100	2300	4650	9300
VGA	145	11500	23000	46500	94000	188000
16:9(12M)	4	325	650	1300	2600	5200
16:9(2M)	23	1800	3600	7300	14500	29000

ご注意

- 静止画の記録可能枚数が99999枚より多いときは、「>99999」と表示されます。
- 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

動画

動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。連続撮影可能時間は1回の撮影で約29分または最大約2GBです。

容量 / サイズ	内蔵メモリー	本機でフォーマットしたメモリーカード				
	約23MB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
1280×720（ファイン）	—	25分（20分）	55分（40分）	1時間50分（1時間20分）	3時間40分（2時間45分）	7時間25分（5時間30分）
1280×720（スタンダード）	—	40分（25分）	1時間20分（55分）	2時間40分（1時間50分）	5時間25分（3時間40分）	10時間50分（7時間25分）
VGA	52秒（39秒）	1時間20分（1時間）	2時間40分（2時間）	5時間25分（4時間）	10時間50分（8時間5分）	21時間45分（16時間20分）

（　）内は最低記録時間です。

次のページにつづく↓

ご注意

- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しているため記録時間が変動します。
- 動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な画像を記録しますが、その分記録時間は短くなります。
  また、撮影環境や被写体の状態、画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、液晶クリーニングキット（別売）を使ってきれいにすることをおすすめします。

レンズをきれいにする

レンズに指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0 ℃～ 40 ℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

次のページにつづく↓

内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れて、電源を切ったまま24時間以上放置する。

索引

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「C Library」、「Expat」、「zlib」、「dtoa」、「pcre」、「libjpeg」が搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。
ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
CD-ROMの「License」フォルダにある「license1.pdf」をご覧ください。「C Library」、「Expat」、「zlib」、「dtoa」、「pcre」、「libjpeg」の記載(英文)が収録されています。

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているMPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSEのもと、次の用途に限りライセンスされています。
(i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号(以下、MPEG-4 VIDEOといいます)にエンコードすること。
(ii) MPEG-4 VIDEO(消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)または、GNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。
ソースコードは、Webで提供しております。
ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。
http://www.sony.net/Products/Linux/
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
CD-ROMの「License」フォルダにある「license2.pdf」をご覧ください。「GPL」、「LGPL」の記載(英文)が収録されています。
PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。
http://www.adobe.com/

CD-ROM(付属)に収録されている「Music Transfer」のライセンスに関するお知らせ

MPEG Layer-3 audio coding technology and patents licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.